

奈良中心市街地公共交通総合連携計画

平成29年3月

奈良市

目次

1. 計画の概要.....	3
1.1 計画の目的.....	3
1.2 計画の位置づけ.....	3
1.3 計画対象区域.....	4
1.4 計画対象期間.....	4
2. 前回計画策定時からの交通状況の変化.....	5
2.1 前回計画の計画目標と取組内容.....	5
2.2 計画目標の達成状況.....	5
2.3 主要施策の概況.....	9
2.3.1 P&R（パークアンドライド）の実施.....	9
2.3.2 木簡型一日乗車券の販売.....	11
2.3.3 ぐるっとバスの運行.....	14
2.3.4 （仮称）登大路バスターミナルの整備.....	17
2.3.5 ならまちエリアの拠点施設整備.....	18
2.3.6 モビリティ・マネジメントの実施.....	19
2.4 交通状況の変化.....	20
2.4.1 交通量.....	20
2.4.2 渋滞長.....	21
2.4.3 旅行速度.....	22
2.5 観光形態の変化.....	25
2.5.1 インバウンド観光客の増加.....	25
2.5.2 情報取得環境の変化.....	25
2.6 主要施策の効果と課題.....	26
3. 奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた.....	27
3.1 基本理念.....	27
3.2 計画目標.....	27

4. 実施施策	29
4.1 施策体系.....	29
4.2 事業スケジュール	30
4.3 施策概要.....	31
4.3.1 施策1：渋滞対策に資する効果的な広報の実施.....	31
4.3.2 施策2：P&Rの実施.....	36
4.3.3 施策3：駐車場利用の平準化.....	38
4.3.4 施策4：観光バスの需要調整.....	40
4.3.5 施策5：鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上.....	41
4.3.6 施策6：ターミナルの検討.....	44
4.3.7 施策7：観光拠点間の移動環境の充実	46
4.3.8 施策8：ならまち界隈の動線確保.....	47
4.3.9 施策9：モビリティ・マネジメントの実施	48
5. 推進体制	50
5.1 推進体系.....	50
5.2 事業推進に係る目標達成状況および施策効果検証の実施	51
【参考資料】 検討の経緯	52

1. 計画の概要

1.1 計画の目的

奈良中心市街地は、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡・文化財が数多く点在する地域です。2010年の「平城遷都1300年祭」の際には、多くの観光客が訪れ、現在の入込客数は約1500万人に達しています。その一方、観光を目的とした自動車交通の増加によって、奈良中心市街地における交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻化しており、環境負荷の小さい交通体系の構築が求められています。

本計画は、これらの問題に対応するため、奈良中心市街地内での移動について、地域住民および公共交通事業者などの関係者が一体となり、総合的な検討を進めることにより、快適な公共交通環境を整え、公共交通を中心とした交通システムを構築し、地域の快適性向上と活性化を図るとともに、観光客の満足度向上と世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護を目指すものです。

1.2 計画の位置づけ

平成23年3月に「奈良中心市街地公共交通総合連携計画（以降、前回計画）」を策定し、観光客および市民双方にとって移動しやすい公共交通の利用環境向上に向けて、多様な事業を実施してきました。

平成28年度には、事業実施とあわせて、「奈良中心市街地公共交通活性化協議会」の中で平成25年度に続き2回目となる計画の効果検証を行い、新連携計画策定に向けて事業の効果を把握しました。

前回計画の期間終了に伴い、以下に示す内容を踏まえ、新たな連携計画を策定します。

①連携計画主要プロジェクトの実施

・計画に位置づけられた主要プロジェクトが概ね実施されたため、各目標およびモニタリング指標の達成状況を確認した上で、公共交通を取巻く情勢の変化を踏まえ、新たな課題に取り組む必要があります。

②交通渋滞および環境悪化対策のさらなる推進

- ・世界遺産などの奈良の文化財や自然環境の保護に向けて、奈良中心市街地における観光交通および日常交通の状況を踏まえ、さらなる公共交通を中心とした交通システムを構築していく必要があります。
- ・奈良公園周辺の乗用車流入抑制方法の確立など、観光シーズンの渋滞緩和を推進する必要があります。

③持続可能な公共交通体系の構築

・地域ぐるみの利用促進、公共交通サービスの情報提供などに要する経費などについて、一定要件の下に、国が補助できる地域協働推進事業費補助金が創設されたことを踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向け、地域関係者が協働・連携しながら確保・維持に向けて取り組む必要があります。

④上位・関連計画との整合性

- ・奈良市第4次総合計画後期計画（平成28年2月）では、奈良公園周辺の渋滞緩和に向けて、公共交通機関の利用促進と、パークアンドライド事業を通じた公共交通や自転車利用者の一層の増加に努める必要性が示されています。移動の快適性、交通の質の向上、他の交通手段への乗換えを容易にするなどの施策によって、安全性を確保するとともに、交通の質を向上させることが重要です。

1.3 計画対象区域

本計画における対象区域は、奈良公園・平城宮跡・西ノ京などを含む奈良中心市街地（エリア1、エリア1.5、エリア2）とします。



〔エリア1：奈良公園周辺〕

- ・交通の流入を抑制し、エリア内の駐車場の需要調整やエリア内での観光客の回遊性を高めるなどの施策を実施すべきエリア。

〔エリア1.5：平城宮跡などの拠点整備状況を踏まえ、優先的に実施する地域〕

- ・当面の対策エリアとして、交通の流入を特に少なくするため、優先的に施策を実施すべきエリア。

〔エリア2：西ノ京～平城宮跡～奈良公園を含んだ地域〕

- ・交通の流入をできるだけ少なくするため、エリア周辺でのパーク&ライド駐車場（バスライド、サイクルライドなど）の設置や周遊バスなど、移動の円滑性を確保するなどの施策を実施すべきエリア。

図 1.1 計画対象区域

1.4 計画対象期間

本計画の対象期間は、平成29年度から平成31年度までの3ヶ年とします。

2. 前回計画策定時からの交通状況の変化

2.1 前回計画の計画目標と取組内容

○ 前回計画では、3つの計画目標を設定

前回計画（H26.3策定）では、奈良中心市街地の課題を解決するための目標として、過度に自動車に頼らず、公共交通で快適に移動できる交通体系の確立を目指し、計画目標を設定しました。また、各目標を達成するための施策として、以下の主要施策を実施してきました。

種類	計画目標	主要施策
観光 交通	(1) 渋滞の緩和	①P&R（パークアンドライド）の実施 ②木簡型一日乗車券の販売
	(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	③ぐるっとバスの運行 ④登大路ターミナルの整備 ⑤ならまちエリアの拠点施設整備
日常 交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	⑥モビリティ・マネジメントの実施

2.2 計画目標の達成状況

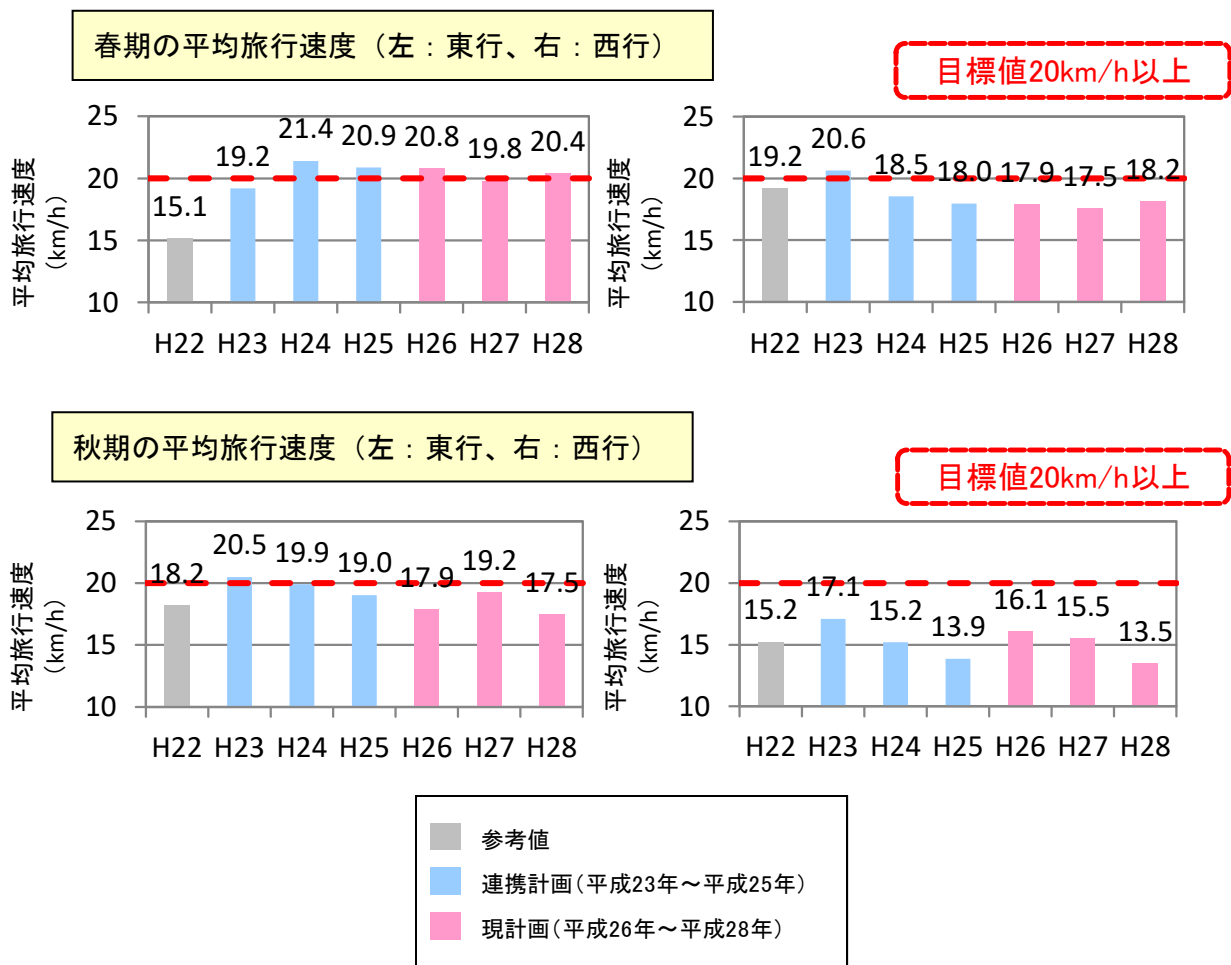
○ 「渋滞の緩和」の計画目標は、未達成

(1) 渋滞の緩和：奈良中心市街地における旅行速度の向上

前回計画では、奈良中心市街地における渋滞を緩和させ、快適な観光を実現するため、公共交通へのモーダルシフトを推進し、主要道路における旅行速度を20（km/h）以上に向上させることを目標としました。

主要道路である「大宮通り」は、平成28年春期に東行の平均旅行速度が20.4km/hで、20（km/h）以上となりましたが、平成28年秋期は東行が17.5 km/h、西行が13.5km/hであり、目標は未達成となりました。

平均旅行速度（km/h）	
<平成24年度>	<平成28年度：未達成>
現況値 15.2（km/h）	目標値 20（km/h）以上 実測値 13.5（km/h）
※7時～19時の12時間の平均旅行速度（km/h） ※奈良公園と平城宮跡など、主要な観光施設へのアクセス道として利用する主要道路である「大宮通り（国道24号東側）」を対象 ※目標値は、公益財団法人 道路交通情報センター（JARTIC）の渋滞情報、「一般道路 20km/h 未満は混雑」を参照して設定 ※平成28年度の実測値は秋期の西行の平均旅行速度	



出典：各年4月～5月・10月～11月（休日）の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

図 2.1 大宮通りにおける休日の平均旅行速度



図 2.2 計画目標における平均旅行速度の対象区間

○ 「奈良公園・中心市街地の移動環境の向上」の計画目標は、ほぼ達成

(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上：奈良市の観光入込客数

前回計画では、奈良中心市街地における移動環境を向上させ、公共交通による周遊観光を促進させることによって、奈良市の観光入込客数を年間 1,500 万人に増加させることを目標としました。

観光入込客数は平成 23 年の東日本大震災以降、順調に回復しています。平成 27 年は目標をほぼ達成しています。

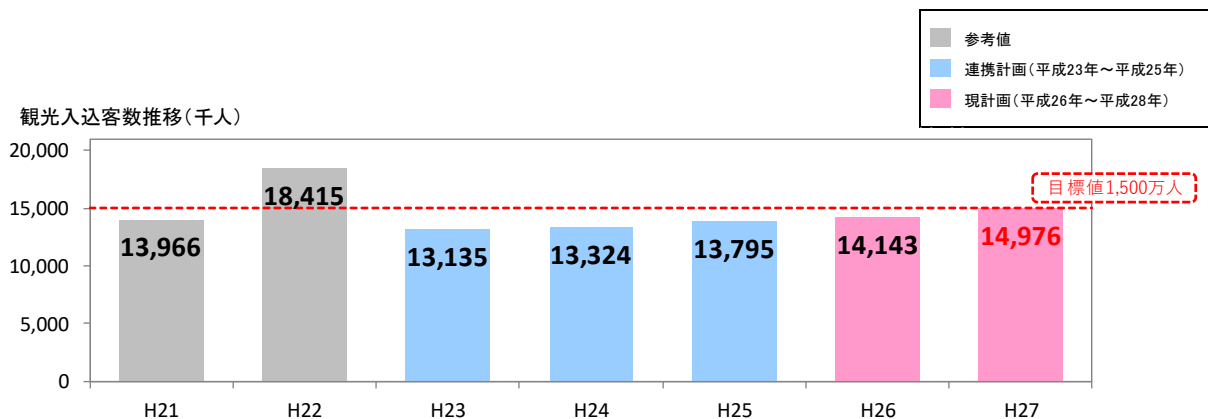
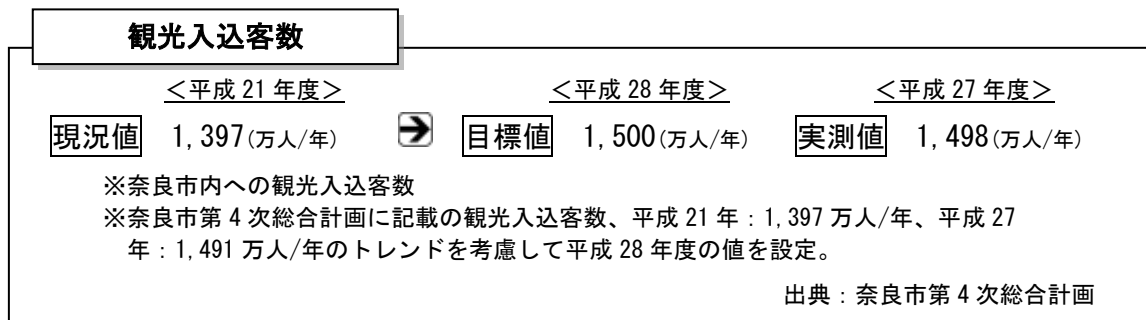


図 2.3 奈良市の観光入込客数

○「マイカー通勤から他の通勤手段への転換」の計画目標は、達成

(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換：他の通勤手段への転換者割合

前回計画では、奈良市役所庁舎の自動車通勤者を対象に、モビリティ・マネジメントを実施することによって、日常の交通手段について、マイカーから他の通勤手段への転換者を20%増加させることを目標としました。

平成28年の実測値は転換者割合が27%となり、目標を達成しました。

マイカー通勤から他の通勤手段への転換者割合		
<平成25年度>		<平成28年度：達成>
現況値	— (%)	➡
目標値	20 (%)	実測値 27 (%)

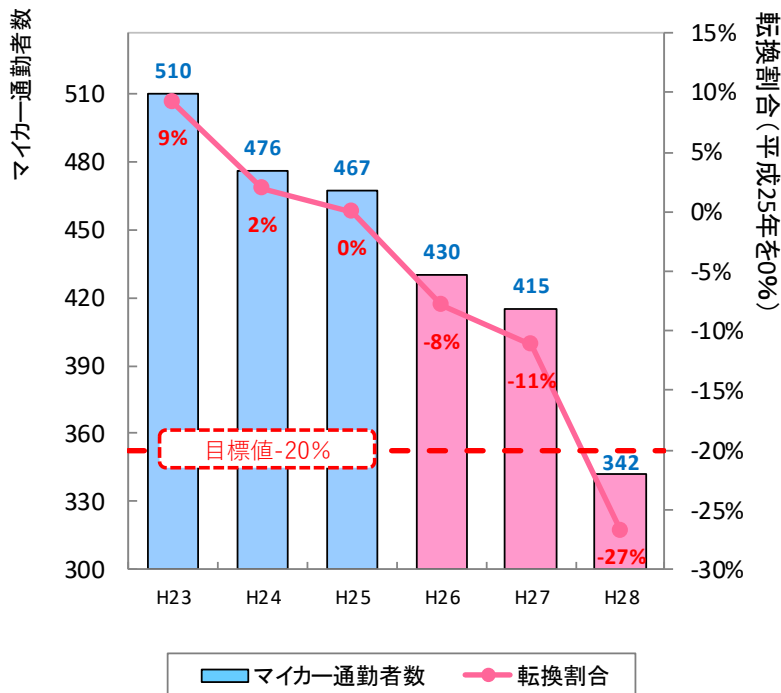


図 2.4 奈良市役所庁舎におけるマイカー通勤者数

2.3 主要施策の概況

2.3.1 P&R（パークアンドライド）の実施

(1) P&Rの実施概要

○ 観光目的で奈良中心市街地に流入する自動車交通の流入抑制を目的に、P&Rを実施

P&R（パークアンドライド）は、ぐるっとバスと連携し実施することによって、観光周遊を促すとともに、奈良中心市街地への自動車の流入を抑制することを目的としています。

P&Rは、利用状況を踏まえながら実施駐車場などを見直しており、これまでの駐車場利用実績を踏まえ、平成28年のP&Rは、「国道24号高架下駐車場」と「奈良市役所駐車場」の2箇所を実施しています。毎年度、奈良中心市街地の観光ピーク期となる春期と秋期に実施しており、料金は無料となっています。

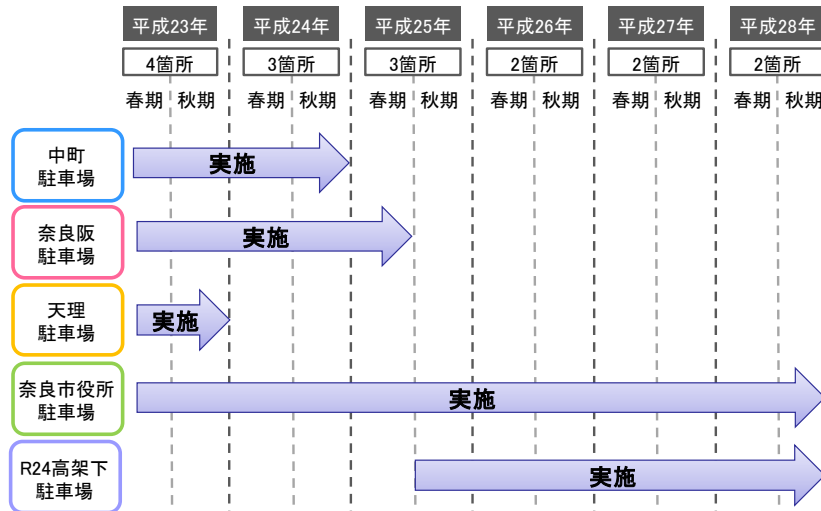


図 2.5 P&R 駐車場別実施状況



図 2.6 P&Rの実施概要

(2) P&R の利用状況

○ P&R のピーク時の利用台数は増加傾向

平成 28 年は、各駐車場とも一定数の P&R 利用があり、ピーク時には春期で 423 台、平成 28 年秋期で 512 台の利用があり、増加傾向となっています。

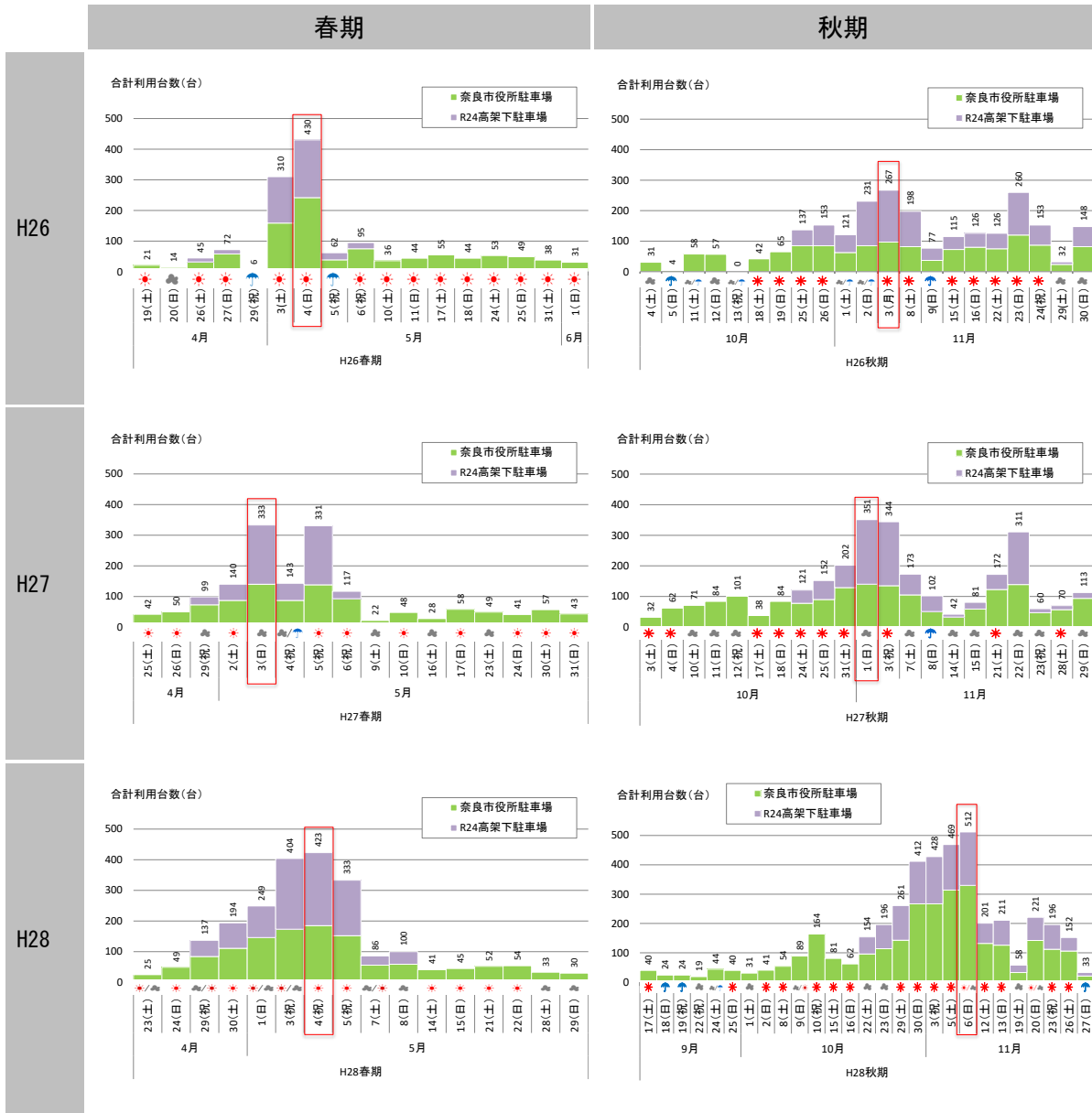
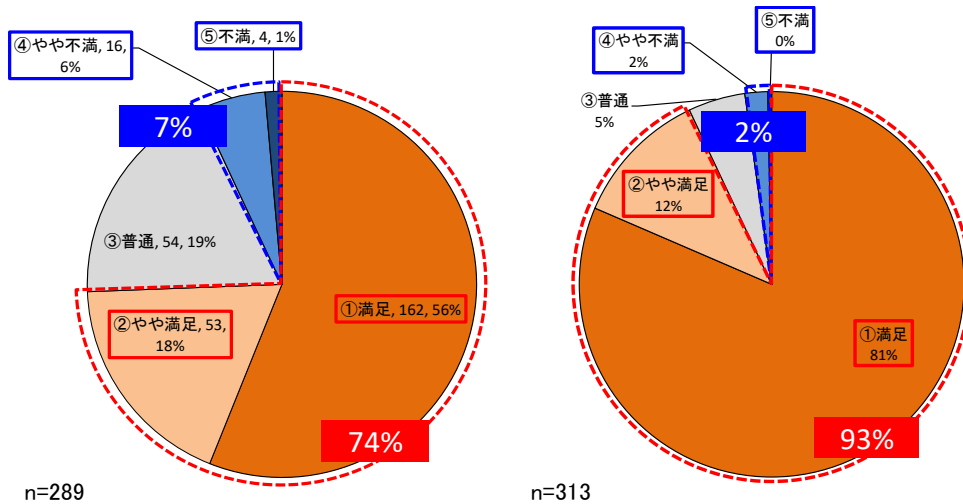


図 2.7 P&R 利用台数の推移

(3) P&R の満足度

○ P&R 駐車場は、利用者の 7 割以上が満足

P&R に対して、春期で利用者の 74%が、秋期で利用者の 93%が「満足」または「やや満足」と回答しています。



出典：平成 28 年春期・秋期 P&R 利用者ヒアリング調査

図 2.8 P&R の満足度 (左：春期、右：秋期)

2.3.2 木簡型一日乗車券の販売

(1) 木簡型一日乗車券の実施概要

○ 奈良中心市街地の周遊促進を目的に、バスが一日乗り放題となる「木簡型一日乗車券」を販売

木簡型一日乗車券は、「ぐるっとバス」、「奈良交通バスフリー区間」などが、一日乗り放題となる乗車券で、公共交通による周遊を促進させ、奈良中心市街地での来訪箇所数、滞在時間、消費額の増加を目的に実施しています。

木簡型一日乗車券は、奈良中心市街地の P&R 駐車場や鉄道駅などで購入することができ、協力施設で入場割引やノベルティプレゼントなどの特典があります。

表 2.1 木簡型一日乗車券の事業年表

時期		発行枚数	備考
平成 23 年	春期	5,000 枚	木簡型一日フリー乗車券として大人 400 円、子供 200 円で販売
	秋期	8,000 枚	価格改定（大人 500 円、子供 250 円）
平成 24 年	春期	6,500 枚	—
	秋期	4,500 枚	—
平成 25 年	春期	6,000 枚	—
	秋期	8,000 枚	—
平成 26 年	春期	7,500 枚	「木簡型一日乗車券」に名称変更
	秋期	8,500 枚	リーフレットの日本語・英語併記
平成 27 年	春期	8,000 枚	—
	秋期	13,000 枚	デザイン変更、P&R 国道 24 号高架下駐車場での販売開始
平成 28 年	春期	11,500 枚	—
	秋期	17,500 枚	—



図 2.9 木簡型一日乗車券



木簡型一日乗車券で利用できるバス路線 Bus Routes covered by the "Takkan" Wooden Tag Day Pass	
バス路線 Bus Route	
ぐるっとバス Gurutto Bus	奈良公園ルート Nara park Route
	平城宮跡ルート Nara Palace Site Route
	奈良交通バスフリー区間 Nara Kotsu Bus Routes

(平成 28 年秋期)

木簡型一日乗車券

近鉄奈良駅・JR 奈良駅の奈良交通案内所
営業時間内
9/17～11/27 の土日祝 (10/22～11/13 は曜日)

奈良市役所駐車場 販売所
9:00～14:00
9/17～11/27 の土日祝

国道 24 号高架下駐車場 販売所
9:00～14:00
10/22～11/27 の土日祝

※販売場所・販売・有効期間 ※販売数になり次第、販売終了

※販売数になり次第、販売終了

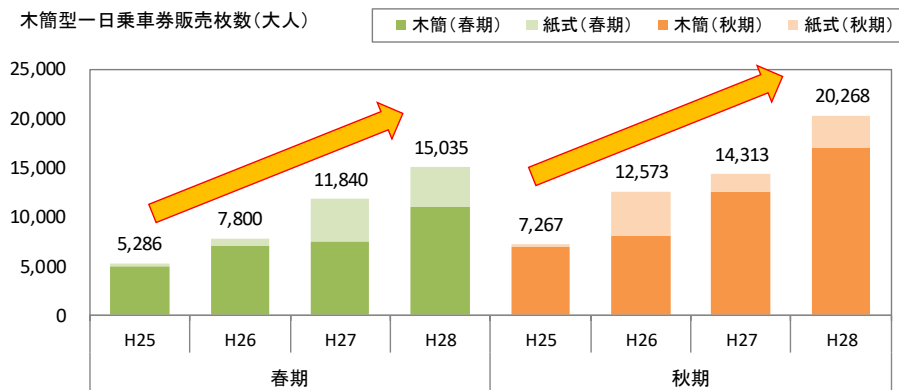
※販売数になり次第、販売終了

図 2.10 木簡型一日乗車券の実施概要

(2) 木簡型一日乗車券の販売枚数

○ 木簡型一日乗車券の販売枚数は、増加傾向

平成 28 年春期の、大人の木簡型一日乗車券（木簡切符）は、発行予定枚数以上を販売し、紙式の乗車券を発行しています。また、平成 28 年秋期は、過去最高値となる約 17,000 枚を販売しています。



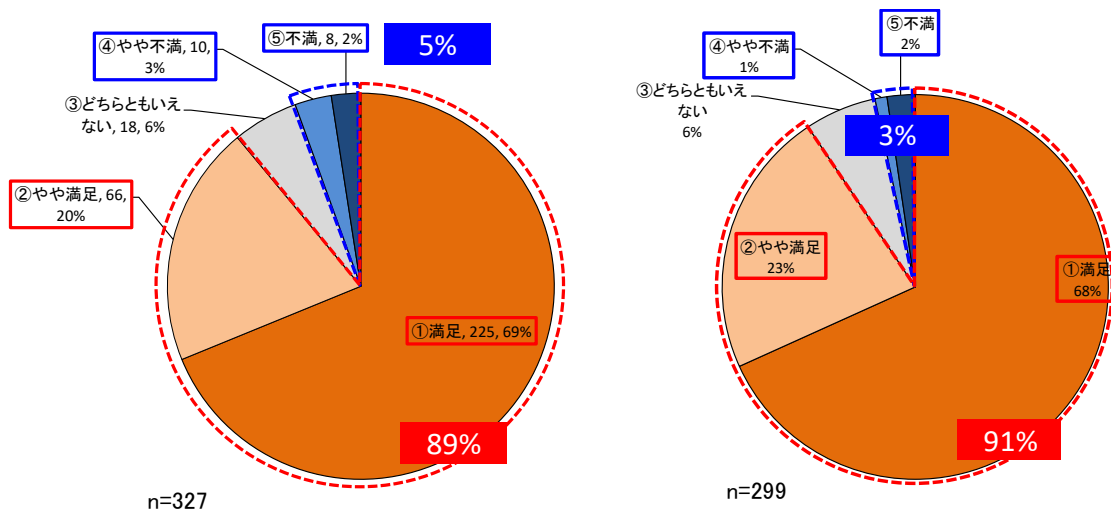
※各年度の数値は、木簡型一日乗車券販売期間内の大人と小児の販売枚数の合計値

図 2.11 木簡型一日乗車券の販売枚数の推移

(3) 木簡型一日乗車券の満足度

○ 木簡型一日乗車券は、購入者の 9 割以上が満足

木簡型一日乗車券に対して、春期で利用者の 89%が、秋期で利用者の 91%が「満足」または「やや満足」と回答しています。



出典：平成 28 年春期・秋期木簡型一日乗車券アンケート調査

図 2.12 木簡型一日乗車券利用者の満足度（左：春期、右：秋期）

2.3.3 ぐるっとバスの運行

(1) ぐるっとバスの実施概要

○ 観光周遊バスとして、2ルートのごるっとバスを運行

鉄道駅と奈良公園から平城宮跡間のアクセス性を向上させ、周辺に位置する観光施設の周遊を促すことを目的に、奈良中心市街地内においてぐるっとバスを運行しています。

これまでのぐるっとバスの利用状況を踏まえ、平成28年時点の運行ルートは、「奈良公園ルート」、「平城宮跡ルート」の2ルートとなっています。

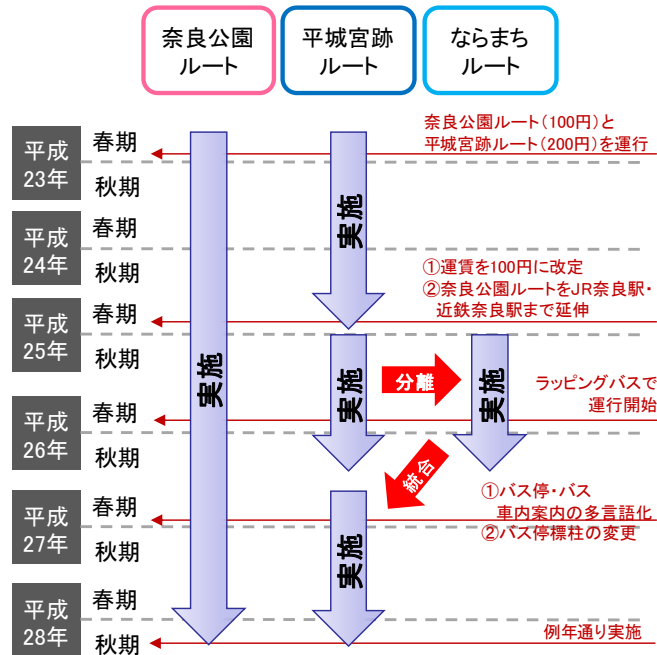


図 2.13 ぐるっとバスルート別運行状況



図 2.14 ぐるっとバスの実施概要

(平成28年秋期)

平成 26 年 6 月より、ぐるっとバスをオリジナルラッピングバスで運行しています。奈良公園ルートは、イメージカラーである赤色、平常旧跡ルートは青色のバスで運行しています。バス車体を各ルートのイメージカラーでラッピングすることで、認知度の向上にも寄与しています。

また、バス停標柱デザインを改善し、ぐるっとバス利用の利便性を向上しています。具体的には、バス停のナンバリング、バス停標柱におけるバス停名の多言語表示、情報の充実（路線図の地図上への表記、バス停周辺マップ、バス運行ダイヤ、運行日をわかりやすく表記）を図っています。



図 2.15 奈良公園ルートのラッピングバス



図 2.16 平城宮跡ルートのラッピングバス

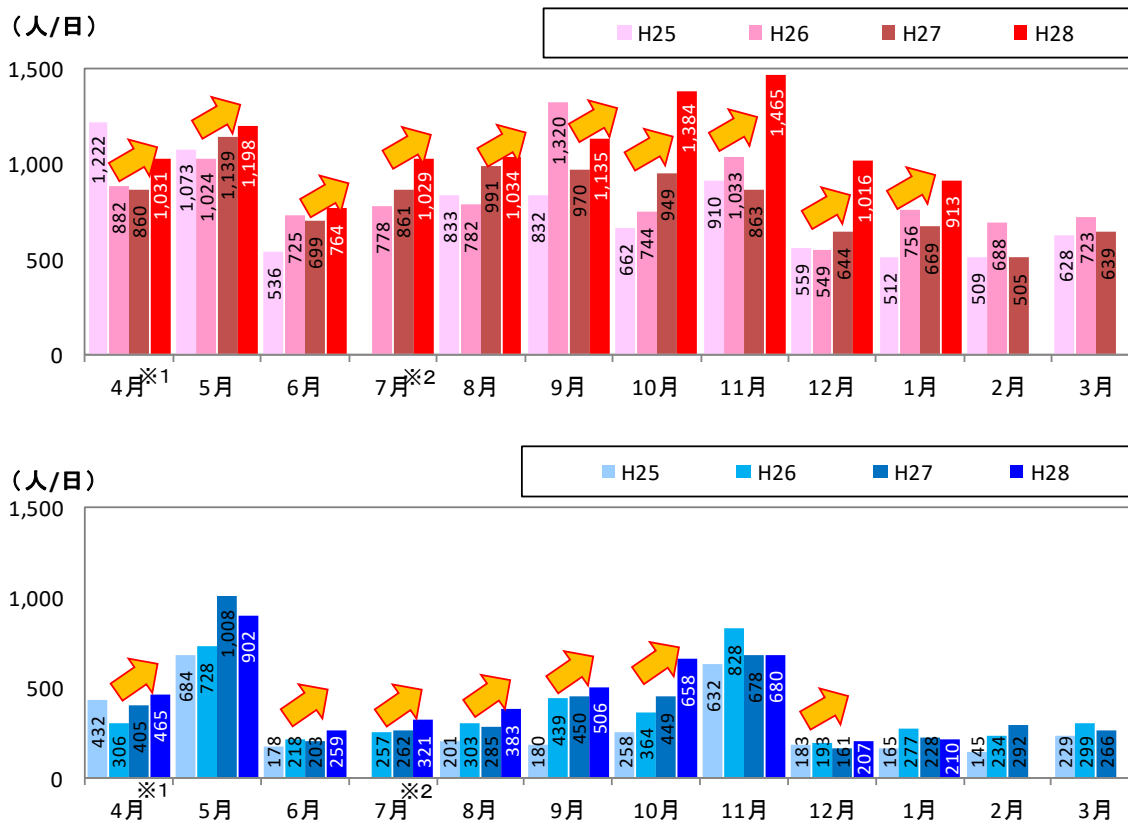


図 2.17 新バス停標柱デザイン

(2) ぐるっとバスの利用状況

○ ぐるっとバスの利用者数は、増加傾向

奈良公園ルートは、4月～8月、10月～1月の利用者が平成26年以降増加傾向であり、9月は平成27年より増加しています。また、平城宮跡ルートは、4月、6月～10月、12月の利用者が平成26年以降増加傾向であり、11月は横ばい傾向にあります。



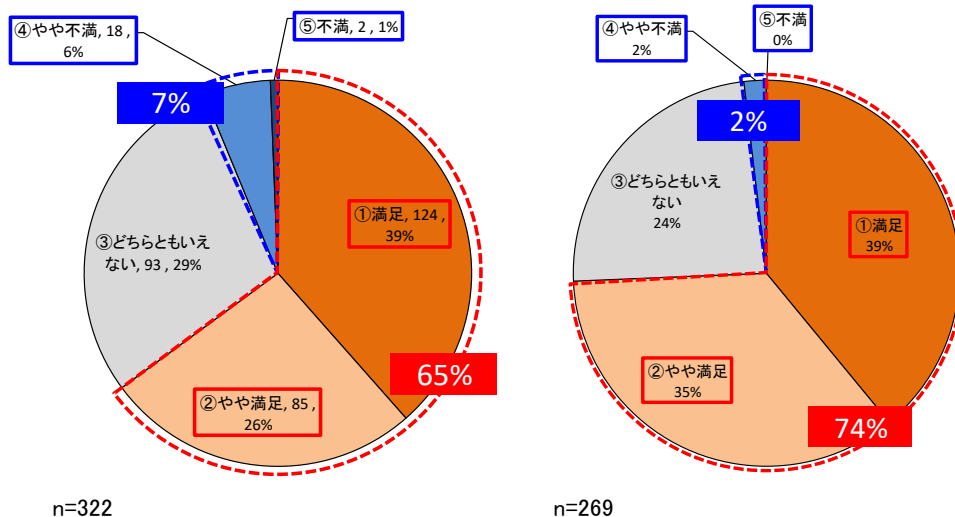
※1：H25.4はGW期間のみの運行、※2：H25.7は運行なし

図 2.18 ぐるっとバスの平均乗車人員
(上：奈良公園ルート、下：平城宮跡ルート)

(3) ぐるっとバスの満足度

○ 木筒型一日乗車券は、購入者の9割以上が満足

ぐるっとバスの満足度は、春期で利用者の65%が、秋期で利用者の74%が「満足」または「やや満足」と回答しています。



出典：平成 28 年春期・秋期ぐるっとバス利用者ヒアリング調査

図 2.19 ぐるっとバスの満足度

2.3.4 (仮称) 登大路バスターミナルの整備

○ 乗り継ぎ利便性向上に向けた (仮称) 登大路バスターミナルを整備中

平成 23 年に登大路 (南) 駐車場の利用を廃止し、交通渋滞の緩和や公園の魅力向上等を目的として平成 30 年度の完成を目処に、(仮称) 登大路バスターミナルを整備中です。このバスターミナルは、次の 3 つの機能を備えています。

- ① 交通ターミナル機能
 - ・ 奈良公園中心部への観光バスの乗入を抑制することで、渋滞が緩和され、公園内の周遊環境が向上
 - ・ ぐるっとバスとの乗継利便性が向上
- ② ガイダンス機能
 - 奈良公園の魅力を学ぶことができる歴史展示やレクチャーホールを整備
- ③ おもてなし機能
 - 休憩スペースや飲食販売施設を整備



図 2.20 (仮称) 登大路バスターミナル整備イメージ



図 2.21 工事状況（平成 28 年 12 月 2 日現在）

2.3.5 ならまちエリアの拠点施設整備

(1) 奈良町南観光案内所の整備

○ 奈良町南に観光拠点施設となる奈良町南観光案内所を整備

平成 27 年 11 月に観光案内所に食堂やカフェを併設した「奈良町南観光案内所『鹿の舟』」をオープンしました。生活文化に根ざした奈良の魅力を発信し、奈良町全体の活性化を目的としています。



図 2.22 奈良町南観光案内所

(2) 案内看板の設置

○ ならまちの拠点への経路を中心に案内看板を設置

ならまちへの動線入口と拠点への経路を中心に、5基の案内看板を設置しています。



(JR 京終駅)

図 2.23 誘導案内板

2.3.6 モビリティ・マネジメントの実施

○ ワンショット TFP の実施により、前回計画の計画目標を達成

平成 25 年度末に奈良市職員に対しワンショット TFP を実施し、平成 26 年～28 年度には奈良市広報誌「しみんだより」に公共交通利用を呼びかける記事を掲載しました。

平成 28 年度の自動車通勤から公共交通通勤への転換者数は、平成 25 年度に比べ、27% 増加し、前回計画の目標を達成しました。

今後、奈良市では、エコ通勤優良事業所認証を取得予定です。



図 2.24 ワンショット TFP アンケート調査票

2.4 交通状況の変化

2.4.1 交通量

○ 奈良中心市街地の交通量は減少傾向

各年度の交通量調査の結果、奈良中心市街地内のほとんどの交差点で、近年は交通量が減少傾向にあります。また、平成25年以降、県庁東交差点では、ほとんどの方向で交通量が減少しています。

単位：(千台/12h)

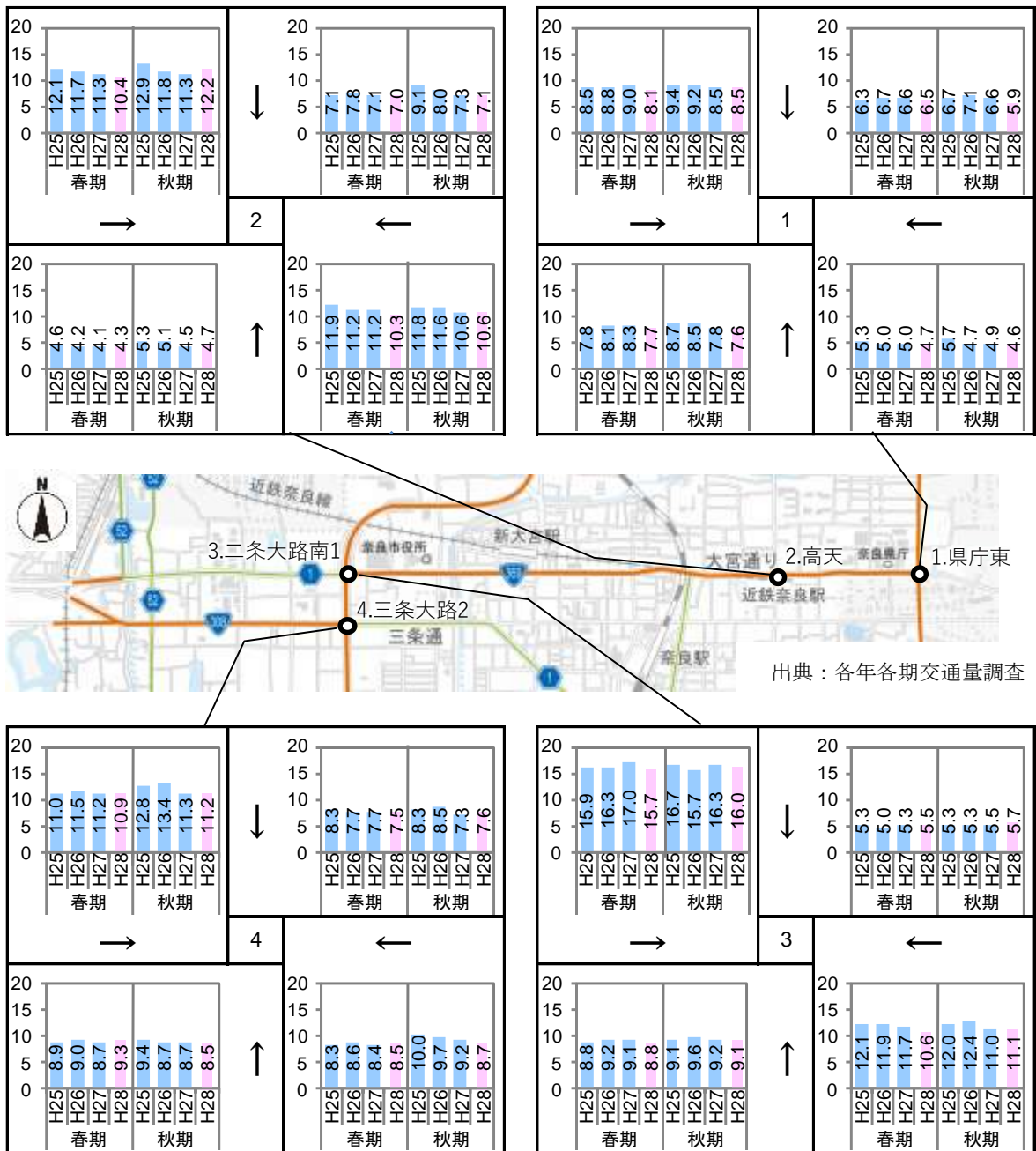


図 2.25 各年交通量調査結果

2.4.2 渋滞長

○ 帰宅車両により、大宮通り西行きの渋滞が発生

県庁東交差点では、東行、北行と西行の渋滞は解消傾向にあります。南行は、春期、秋期ともに平成 26 年以降悪化傾向にあります。高天交差点では、秋期に渋滞が発生する傾向にあり、平成 28 年秋期は 17 時台に南行の渋滞長が、平成 25 年以降で最長となりました。

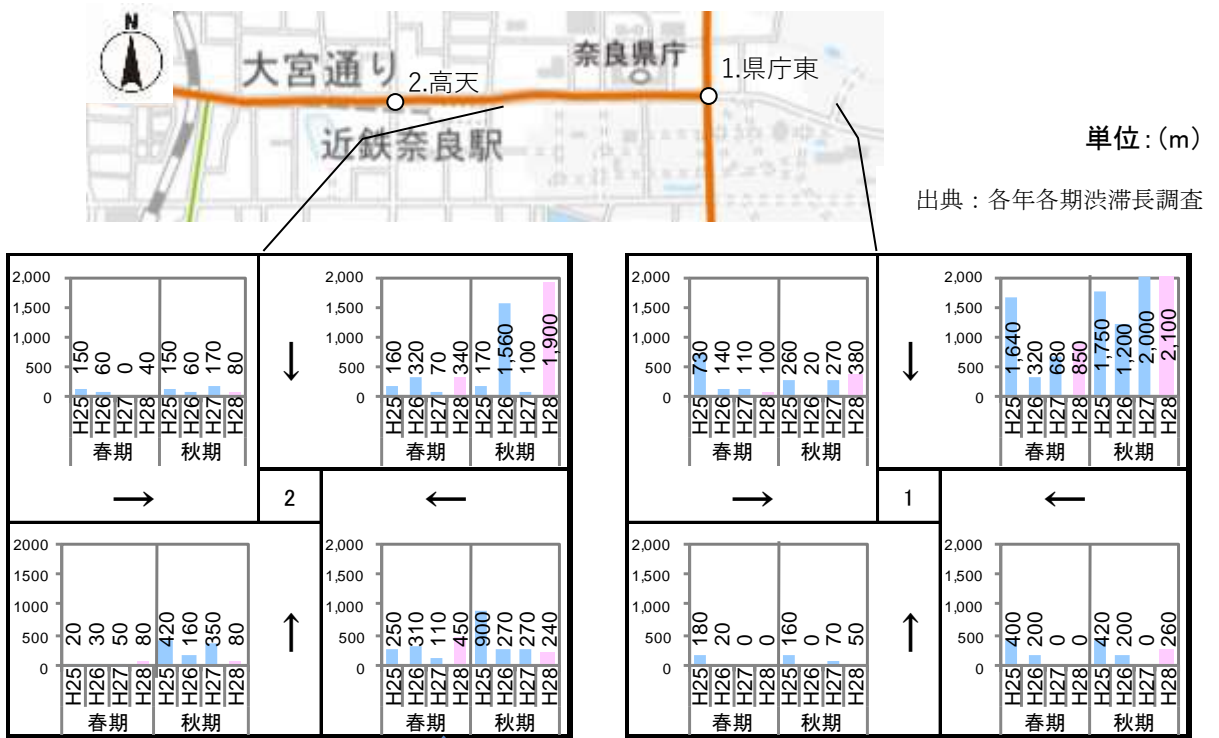


図 2.26 各年渋滞長調査結果

2.4.3 旅行速度

○ 奈良中心市街地には、平均旅行速度が 20km/h を下回る路線が存在

奈良中心市街地は、平日および休日ともに旅行速度が低く、平日の日常的な交通、休日の観光に関する交通で集中しています。また、旅行速度が 20km/h 未満の路線に加えて、国道 369 号の南行きでは 12 時間平均 15km/h 程度となるなど、特に旅行速度が低くなっています。

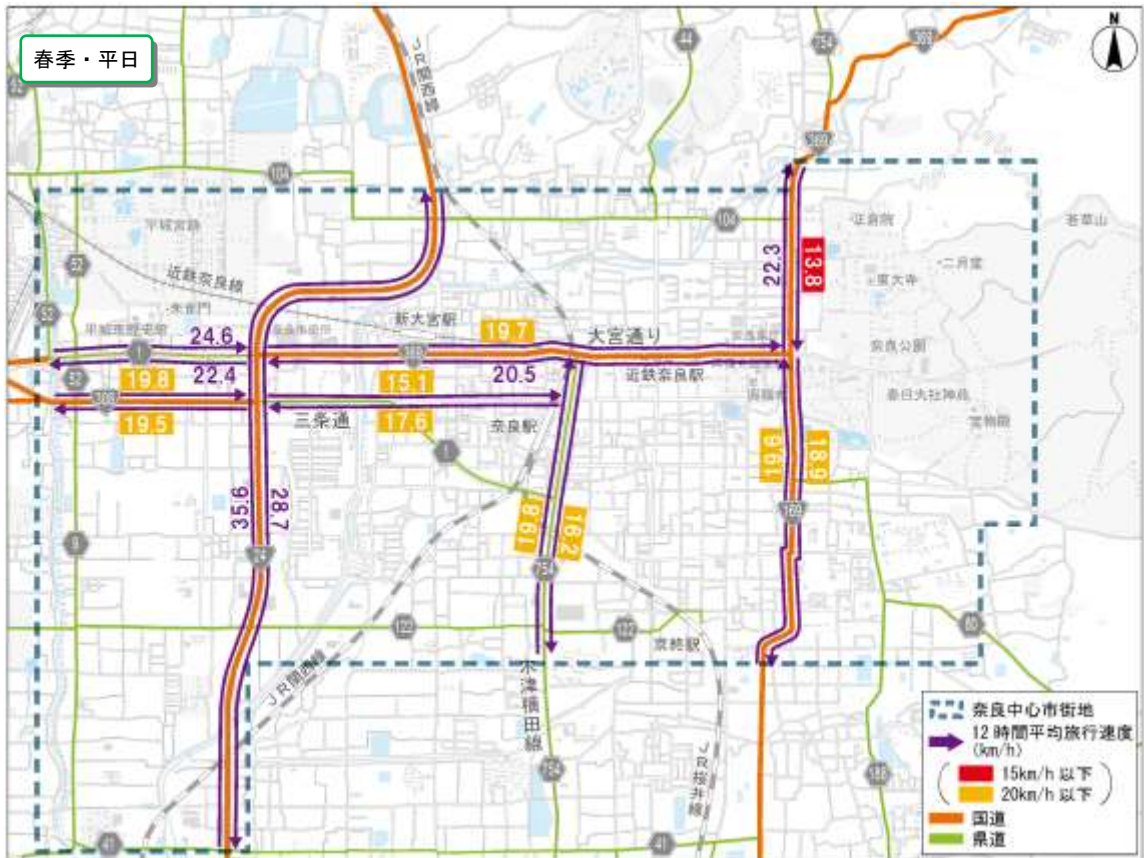
平日と休日では、大宮通りでは休日の旅行速度が低くなっており、観光目的の自動車交通による影響と推測されます。

表 2.2 奈良中心市街地における平休別の平均旅行速度

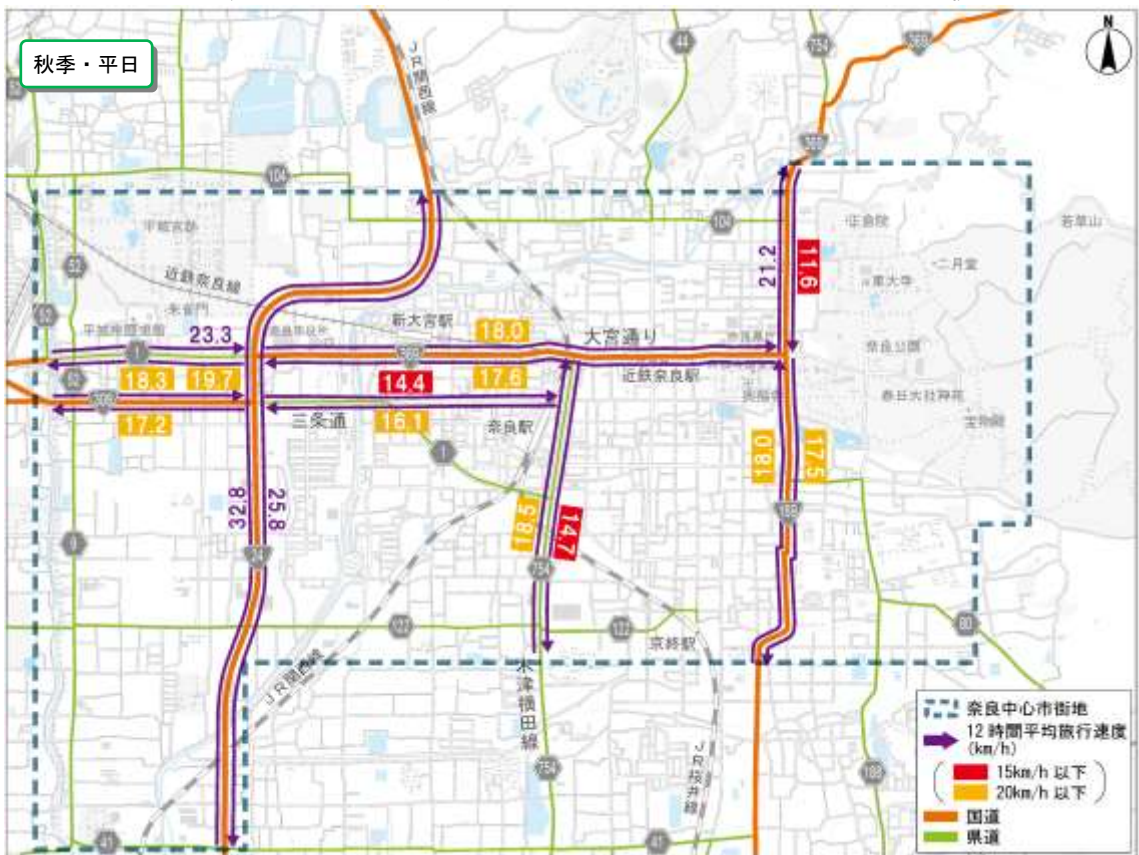
路線名		方向	(km/h)			
			平日		休日	
			春期	秋期	春期	秋期
国道24号		北行き	35.6	32.8	32.7	29.9
		南行き	28.7	25.8	26.5	23.9
国道169号		北行き	19.6	18.0	19.9	18.2
		南行き	18.9	17.5	21.0	18.4
国道369号		北行き	22.3	21.2	22.7	20.5
		南行き	13.8	11.6	14.2	10.5
大宮通り	国道24号東	東行き	19.7	18.0	20.4	17.5
		西行き	20.5	17.6	18.2	13.5
	国道24号西	東行き	24.6	23.3	22.2	19.8
		西行き	22.4	19.7	20.3	17.7
三条通	国道24号東	東行き	15.1	14.4	15.2	14.3
		西行き	17.6	16.1	17.6	13.5
	国道24号西	東行き	19.8	18.3	20.3	17.9
		西行き	19.5	17.2	18.2	14.1
木津横田線		北行き	19.8	18.5	21.3	19.5
		南行き	16.2	14.7	18.2	15.5

※12時間の平均旅行速度は、7時～19時の平均値

出典：平成 28 年 4・5 月、平成 28 年 10・11 月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

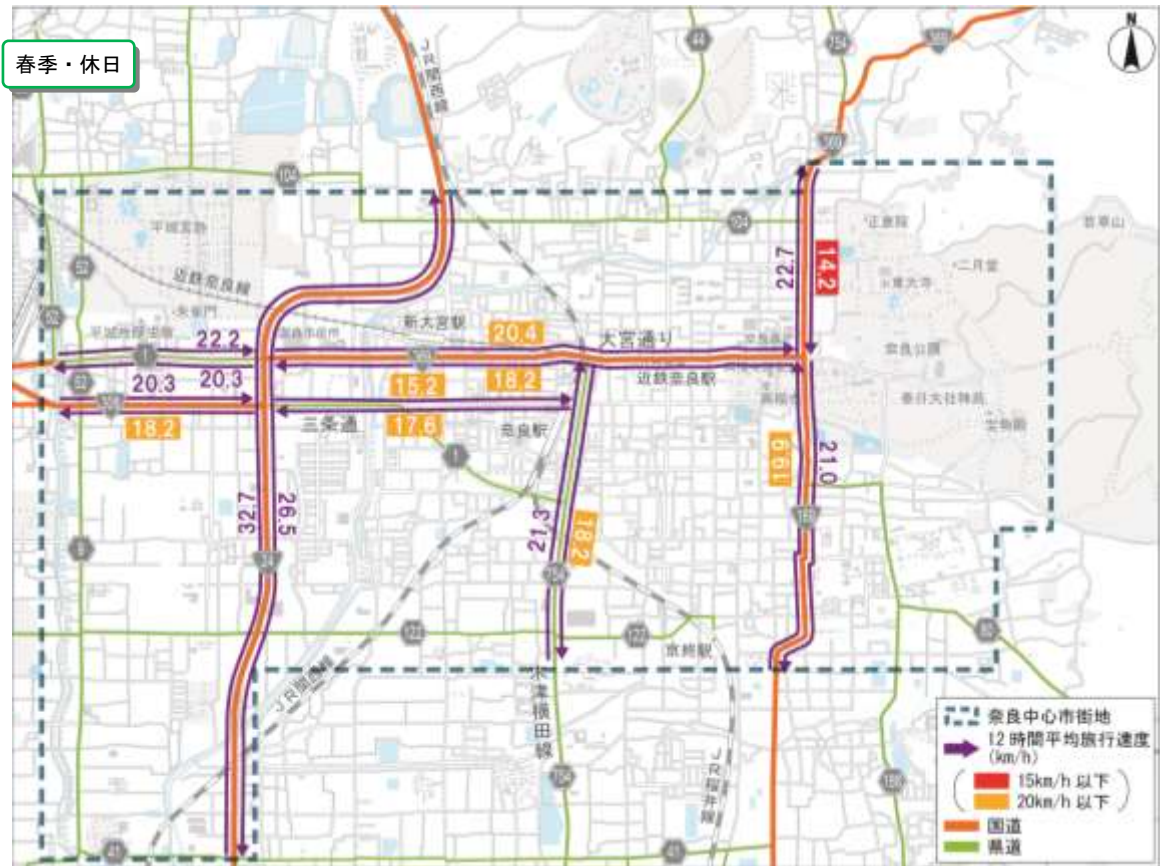


出典：平成28年4・5月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

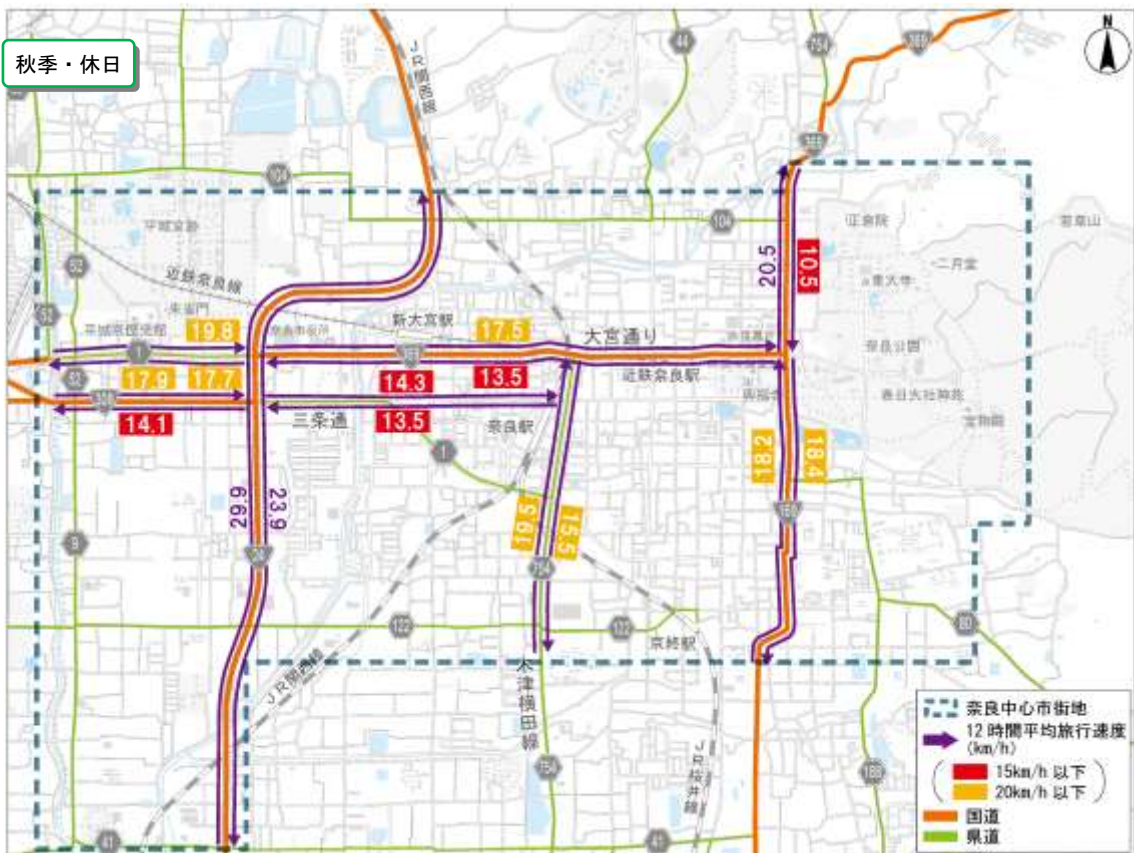


出典：平成28年10・11月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

図 2.27 奈良中心市街地における平日の平均旅行速度



出典：平成 28 年 4・5 月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）



出典：平成 28 年 10・11 月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

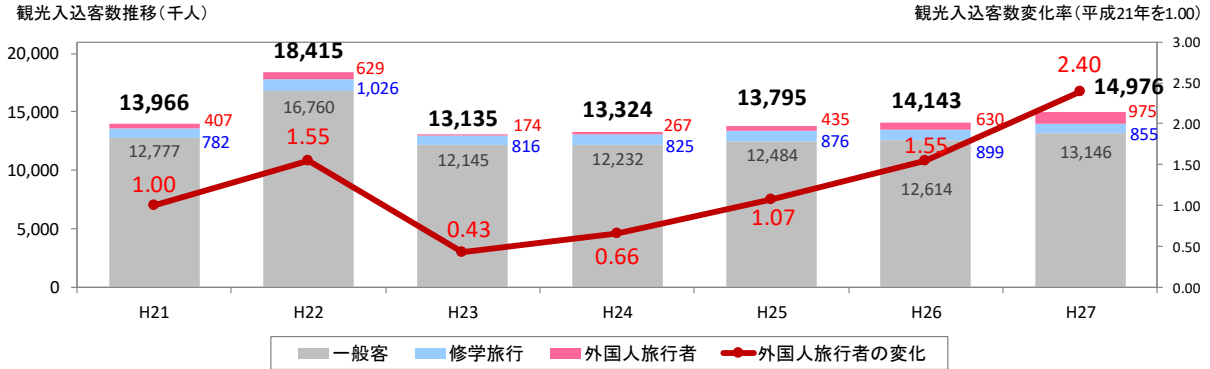
図 2.28 奈良中心市街地における休日の平均旅行速度

2.5 観光形態の変化

2.5.1 インバウンド観光客の増加

○ 近年、奈良中心市街地を訪問するインバウンド観光客が増加

奈良市への観光入込客数は、平成 23 年の東日本大震災以降、順調に回復しており、平成 24 年以降増加傾向にあります。特に、外国人旅行者は、平成 21 年比で平成 27 年は 2.4 倍に増加しています。



出典：奈良市観光入込客数調査報告 平成 27 年

図 2.29 奈良市の観光入込客数の推移

2.5.2 情報取得環境の変化

○ スマートフォンを利用して観光交通情報を収集する人が増加

○ 台湾、香港、中国等のアジア地域を中心に、ホームページにアクセスする人が増加

ホームページ（アクセスナビ：4.3 参照）の閲覧状況は、平成 25 年時点で、スマートフォンよりも PC から閲覧している人が多い状況でしたが、平成 26 年以降は、スマートフォンから閲覧している人が多くなっています。また、海外からのアクセスナビ閲覧者数も、台湾、香港、中国を中心に、平成 25 年以降、増加しています。

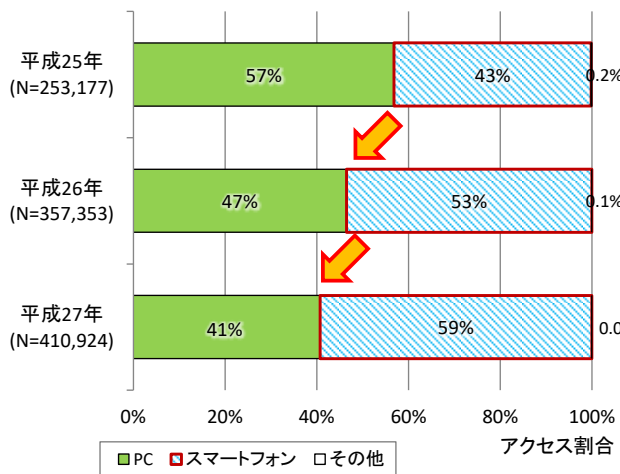


図 2.30 ホームページ閲覧の情報媒体比較

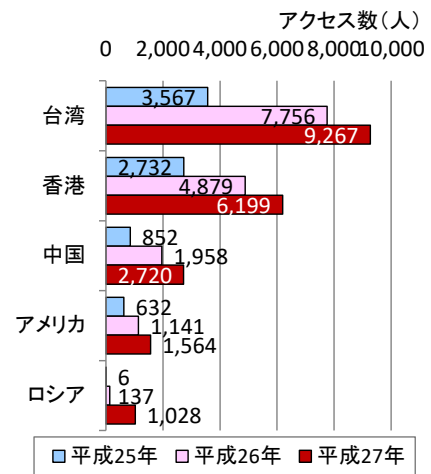
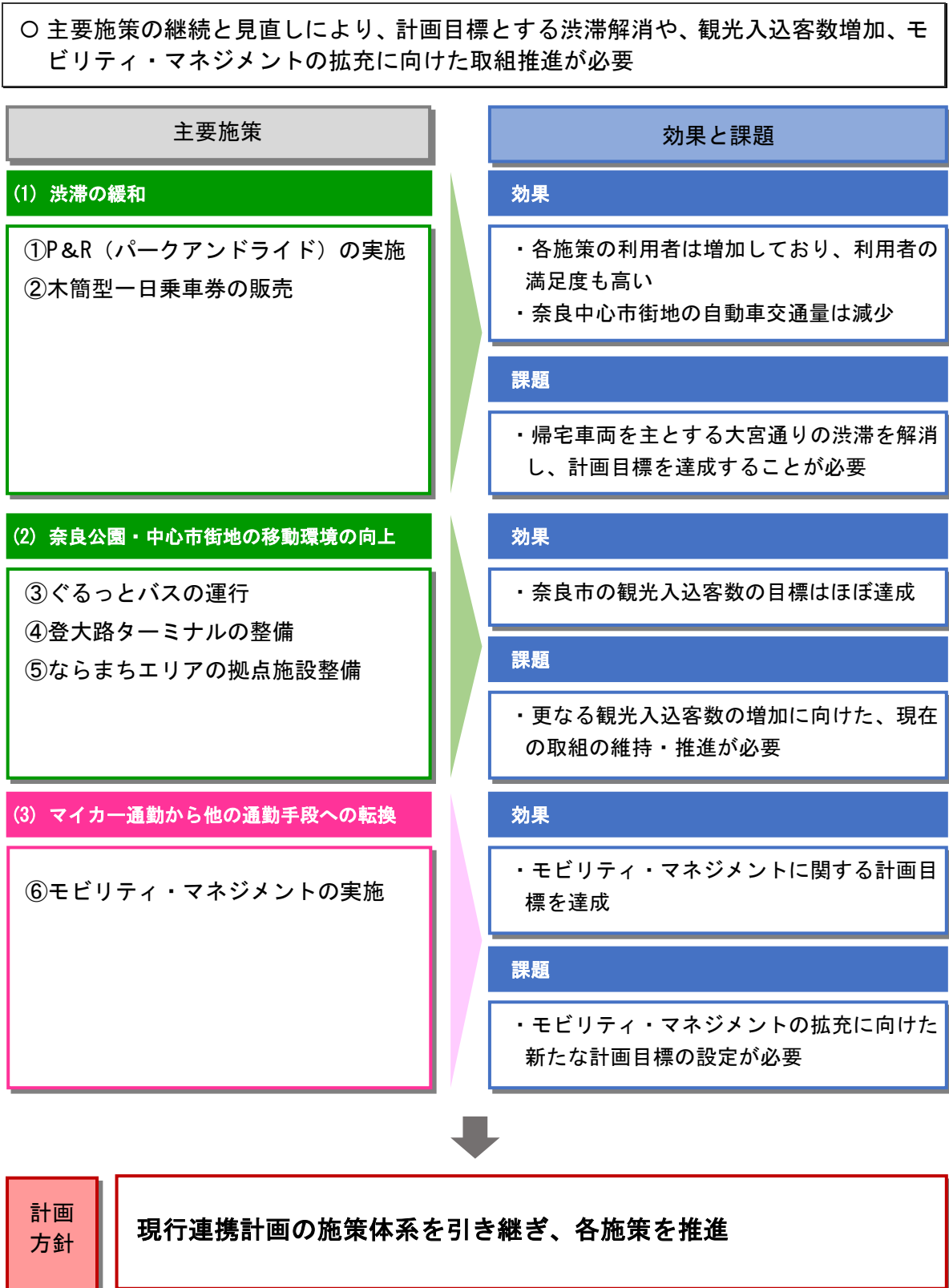


図 2.31 国別アクセス数の比較

2.6 主要施策の効果と課題



3. 奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた

3.1 基本理念

奈良中心市街地で、観光客・市民双方にとって移動のしやすい空間を創出するためには、自動車利用から公共交通利用への転換を促進することが重要であり、そのためには公共交通の利用環境向上に向けて取り組んでいくことが不可欠です。

行政・交通事業者の積極的な取組はもとより、市民・観光客などの関係者相互の協力により、公共交通で快適に移動できる地域を創出することを念頭に置き、次の理念を掲げるものとします。

地域に親しまれ、観光客に好まれる、 公共交通網の構築による地域活性化の実現

理念①：地域の快適性向上と活性化

理念②：観光客の満足度向上

理念③：世界遺産など、奈良の文化財や自然環境の保護

3.2 計画目標

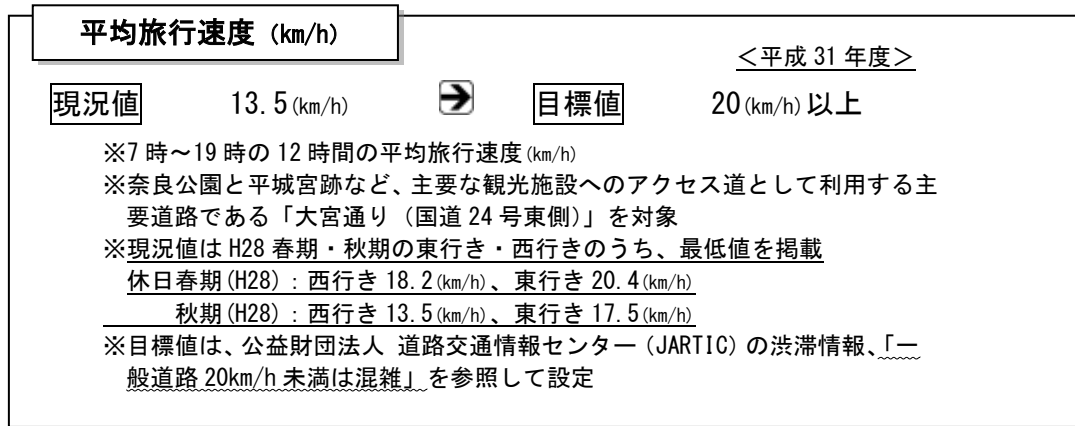
本計画では、前回計画の基本理念を引き継ぎ、課題を解決するための目標として、奈良中心市街地において、過度に自動車に頼らず、公共交通で快適に移動できる交通体系の確立を目指します。

本計画の計画目標として、以下を設定します。

種類	計画目標	具体目標
観光交通	(1) 渋滞の緩和	奈良中心市街地における旅行速度の向上
	(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	奈良市の観光入込客数
日常交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	マイカー通勤者 40%未満の事業所割合

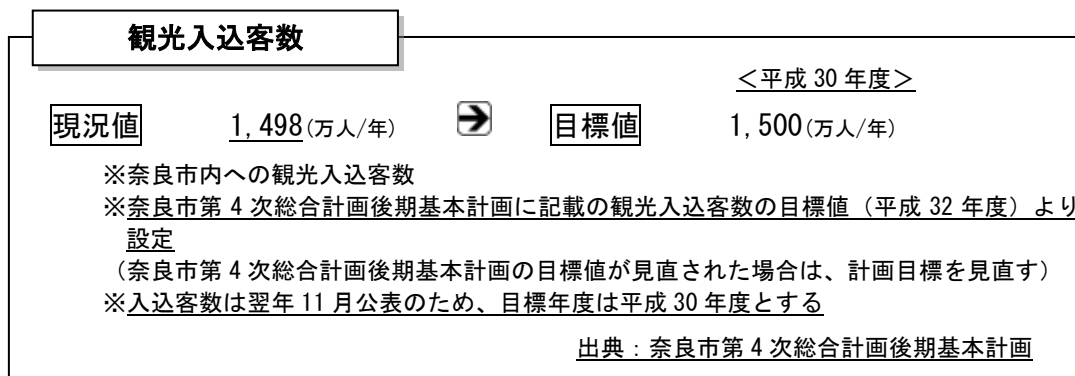
(1) 渋滞の緩和：奈良中心市街地における旅行速度の向上

奈良中心市街地における渋滞を緩和させ、快適な観光を実現するため、公共交通へのモーダルシフトを推進し、主要道路における旅行速度を向上させることを目標とします。



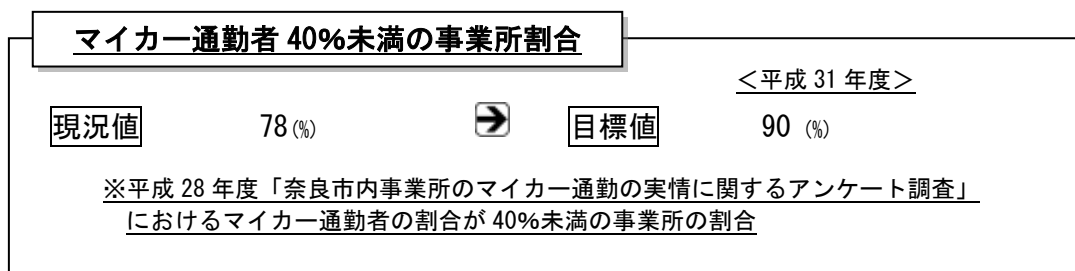
(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上：奈良市の観光入込客数

奈良中心市街地における移動環境を向上させ、公共交通での周遊観光を促進させることによって、奈良市の観光入込客数を増加させることを目標とします。



(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換：マイカー通勤者 40%未満の事業所割合

奈良市内の事業所において、従業員などへの公共交通を中心とした他の交通手段に対する意識を向上させることによって、日常の交通手段について、公共交通等通勤者が過半数を越える事業所を増加させることを目標とします。



4. 実施施策

4.1 施策体系

計画目標を達成するための施策体系を以下に示します。

なお、施策実施にあたっては、関係機関と十分に協議しながら進めていきます。

種類	計画目標	実施施策	モニタリング指標
観光 交通	(1) 渋滞の緩和	1) 渋滞対策に資する効果的な広報の実施	①チラシおよびポスター配布枚数・箇所数 ②HP アクセス数 ③放送回数
		2) P&Rの実施	①P&R 利用台数 ②P&CR 利用者数
		3) 駐車場利用の平準化	①JR 奈良駅市営駐車場の利用台数
		4) 観光バスの需要調整	①予約台数 ②予約率
		5) 鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上	①木簡型一日乗車券の販売数
	(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	6) ターミナルの検討	-
		7) 観光拠点間の移動環境の充実	①ぐるっとバス利用者数
		8) ならまち界隈の動線確保	①奈良町南観光案内所入館者数 ②京終駅乗降客数
日常 交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	9) モビリティ・マネジメントの実施	①マイカー通勤抑制措置の取組割合 ②公共交通通勤への呼びかけ割合 ③交通マネジメントの実施割合

4.2 事業スケジュール

各実施施策は、奈良県、奈良市、交通事業者、および奈良中心市街地公共交通活性化協議会が主体となり事業を推進していきます。また、事業は、本計画の対象期間である平成31年度までを目標に実施します。

表 4.1 計画期間の各年度に実施する事業内容

計画目標	実施施策	実施主体						事業計画期間		
		奈良県	奈良市	JR	近鉄	奈良交通	協議会	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1) 渋滞の緩和	渋滞対策に資する効果的な広報の実施	○	○				○	検証・実施 		
	P&Rの実施	○	○				○	検証・実施 		
	駐車場利用の平準化	○	○					情報の提供、検討 		
	観光バスの需要調整	○						検証・実施 		
	鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上	○	○	○	○	○	○	検証・実施 		
(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	ターミナルの検討	○						設計・整備 		
	観光拠点間の移動環境の充実						○	運行・検証・整備 		
	ならまち界隈の動線確保		○					検証・実施 		
(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	モビリティ・マネジメントの実施		○				○	調査・検証 		

4.3 施策概要

実施施策の具体的な事業概要を示します。各事業では、取組状況および効果を定期的に把握するために、モニタリング指標を設定します。

4.3.1 施策1：渋滞対策に資する効果的な広報の実施

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成29年度～平成31年度	
概要	鉄道駅・高速SA/PAなどにおけるチラシの留め置き・ポスターの掲示	・これまでの広報事業を参考にして、効果が高いことが確認された鉄道駅や高速SA/PAにおいて、チラシ・ポスターによる広報を実施します。
	観光パンフレットを用いたマイカー利用削減のための広報実施	・市、県が発行する観光パンフレットに道路混雑情報や公共交通の利用案内を掲載することで公共交通の利用促進を図ります。
	ホームページの充実	・奈良中心市街地における観光目的利用者を対象に、魅力的な観光情報を紹介するためのポータルサイト「アクセスナビ」の情報充実化を図ります。 ・観光案内に加え、ぐるっとバス、P&R 駐車場などを分かりやすく示すことで、公共交通の利用促進を図ります。
	P&R の利用促進に資するラジオ・道路情報板などでの情報提供	・自動車来訪者に対して、奈良中心市街地で公共交通を利用して観光してもらうためにP&Rを推進します。 ・P&R 駐車場に関して自動車運転中でも情報を取得可能な、ラジオや道路情報板、案内看板や横断幕の設置を行います。
モニタリング指標	指標①：チラシおよびポスター配布枚数・箇所数	チラシ：24,870枚、31箇所 ポスター：99枚、7箇所 (平成28年秋期)
	指標②：ホームページアクセス数	9,914回/月(平成28年11月時点)
	指標③：ラジオ放送回数	568回/月(平成28年)

(2) 施策の実施状況

1) 鉄道駅・高速 SA/PA などにおけるチラシの留め置き・ポスターの掲示

季節ごとに公共交通や、P&R の利用促進チラシとポスターを毎年度作成しています。

また、広報媒体の作成時期に合わせて鉄道駅や高速 SA/PA 等各所にチラシの留め置きとポスターの掲示を実施しています。

表 4.2 各チラシとポスターの作成状況

広報媒体		作成時期
公共交通 利用促進	チラシ ポスター	各季（年 4 回）
P&R 利用促進	チラシ ポスター	



(平成 28 年秋期)

(平成 28 年秋期)

図 4.1 ぐるっとバスのチラシ

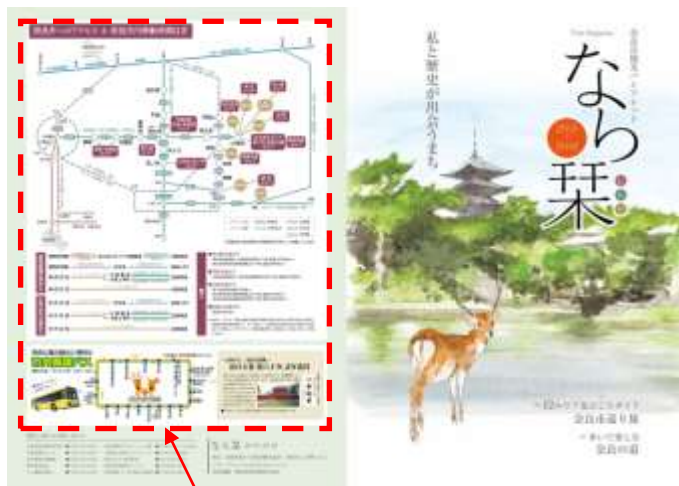
図 4.2 P&R のポスター



図 4.3 チラシ・ポスターの掲出

2) 観光パンフレットを用いたマイカー利用削減のための広報実施

奈良市観光パンフレットの「なら葉」、「天平祭チラシ」において、行楽シーズンの奈良公園周辺道路の混雑状況の記載、および奈良市への公共交通を利用したアクセス方法を掲載し、公共交通利用促進を図っています。



道路混雑情報と公共交通利用案内の掲載

図 4.4 なら葉



図 4.5 天平祭チラシ

3) ホームページの充実

ポータルサイト「アクセスナビ」において、奈良観光シーズンにおける自動車の時間帯別渋滞状況や、公共交通を利用した観光ルート等の情報も掲載しています。また、ぐるっとバスの時刻表検索システムを構築しています。

ぐるっとバスやP&R、木簡型一日乗車券に関する情報の季節ごとの更新や、インバウンド観光客に向けた英語版ページも作成しています。



図 4.6 アクセスナビトップページ

※作成後掲載

図 4.7 アクセスナビ英語版ページ



図 4.8 ぐるっとバス時刻表検索サイト



(平成 28 年秋期)

図 4.9 ぐるっとバス案内

4) P&R の利用促進に資するラジオ・道路情報板などでの情報提供

春期と秋期の観光ピーク期を中心に、「ならどっと FM」で P&R 利用に関する案内を放送しています。

[放送文 (抜粋)] ※JARTIC でも不定期に同様の内容を放送

奈良市役所、国道 24 号高架下駐車場にて無料で開設しているパーク&ライド無料駐車場のご利用をお願いします。

奈良中心市街地内の大宮通り・国道 169 号を中心とする主要道路各所において、P&R 駐車場へ誘導する案内看板や横断幕を設置し、駐車場への誘導を実施しています。



図 4.10 P&R 駐車場誘導状況

(平成 28 年春期)

(3) モニタリング指標

① チラシおよびポスター配布枚数・箇所数

平成 28 年秋期のチラシ配布数は、平成 27 年秋期より増加し、ポスターの配布枚数は平成 27 年秋期とほぼ同等です。

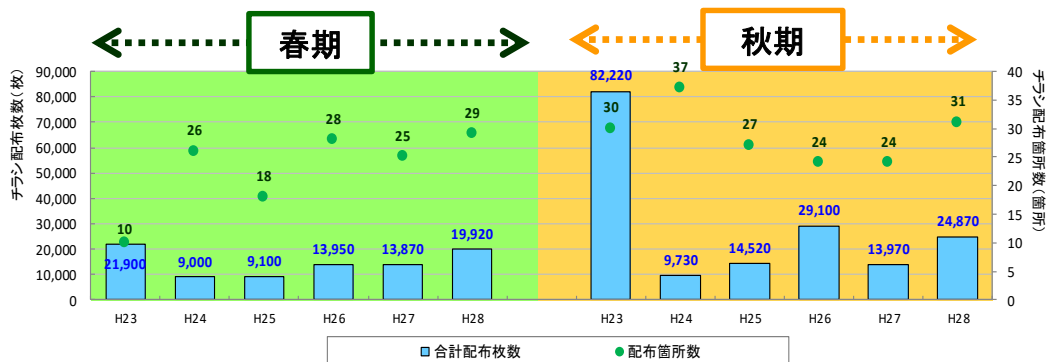


図 4.11 チラシの配布枚数と配布箇所数

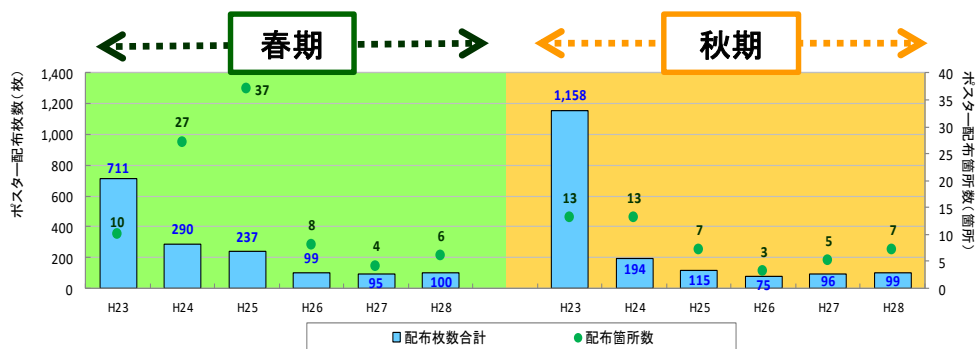
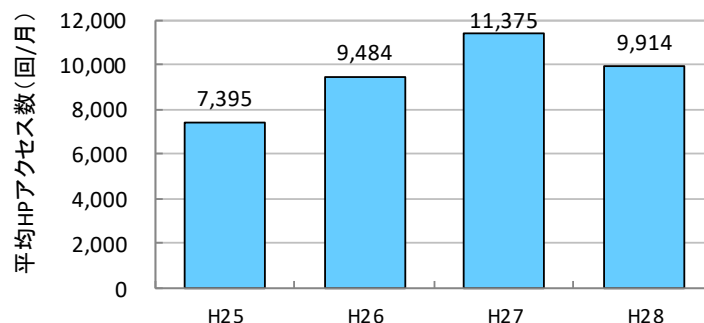


図 4.12 ポスターの配布枚数と配布箇所数

② ホームページアクセス数

ホームページアクセス数は平成 28 年にかけて増加しています。



※H28 の値は H29.1 月末までを集計

図 4.13 ホームページアクセス数

③ ラジオ放送回数

ラジオの放送回数は、平成 27 年とほぼ同等の水準を維持しています。

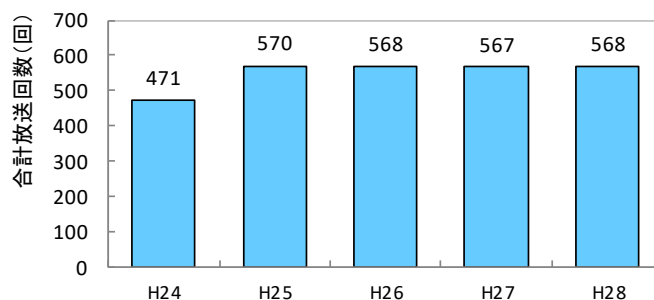
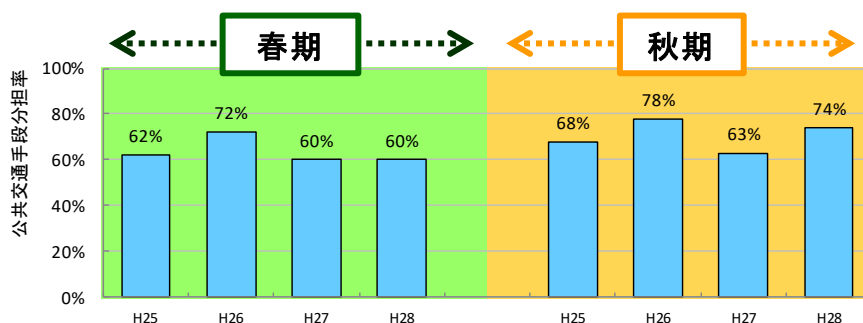


図 4.14 ラジオ放送回数

【参考】公共交通と P&R の分担率

各期に実施しているアンケート調査から、奈良中心市街地来訪者の公共交通手段分担率（公共交通＋P&R）を把握しています。平成 28 年秋期の公共交通分担率は 74%です。



出典：各年各期中心市街地来訪者アンケート調査 ※H28 は 11 月末までを集計

図 4.15 公共交通分担率

4.3.2 施策 2：P&R の実施

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度	
概要	P&R の実施・利用促進	・「国道 24 号高架下駐車場」と「奈良市役所駐車場」などで P&R を実施し、ぐるっとバスなどで観光周遊を促進し、奈良中心市街地の交通渋滞を抑制します。
	P&R 駐車場におけるレンタサイクル事業の実施	・奈良市役所 P&R 駐車場に、放置自転車をリサイクルしたレンタサイクルを配備し、駐車場利用者の中で希望者に無料で貸し出すことで、P&CR（パークアンドサイクルライド）の利便性向上を図ります。 ・観光関連施設等に臨時駐輪場を設置、スタンプラリーや施設と連携した割引サービス等、レンタサイクル利用環境を向上します。
モニタリング指標	指標①：P&R 利用台数	250 台/日（平成 28 年秋期）
	指標②：P&CR 利用者数	89 人/日（平成 28 年秋期）

(2) 施策の実施状況

1) P&R の実施・利用促進

春期・秋期にぐるっとバスと連携した P&R を実施しています。

[詳細は 2.3.1 参照]

2) P&R 駐車場におけるレンタサイクル事業の実施

奈良市役所 P&R 駐車場に、放置自転車をリサイクルしたレンタサイクルを配備し、駐車場利用者の中で希望者に無料で貸し出しています。なら工芸館・春日大社には、レンタサイクルの臨時駐輪場を設置しており、レンタサイクル利用者を対象としたスタンプラリーを実施しています。また、奈良市写真美術館と奈良市杉岡華邨書道美術館の2施設は、P&R 利用者に対する割引（2割引）を実施しています。

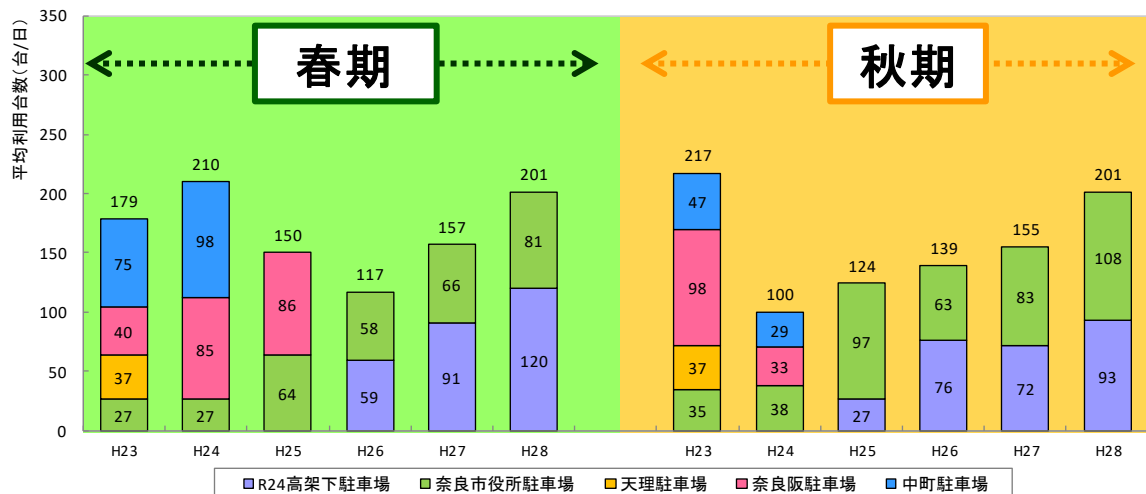


図 4.16 レンタサイクル貸出風景

(3) モニタリング指標の状況

① P&R 利用台数

各駐車場とも一定数の P&R 利用があり、平成 28 年秋期の日平均利用台数は、平成 27 年秋期より増加しています。



※利用者数は、1日あたり、1駐車場あたりの平均利用者

図 4.17 P&R 駐車場の平均利用台数

② P&CR 利用者数

P&CR 利用者数は平成 24 年以降増加傾向にあります。

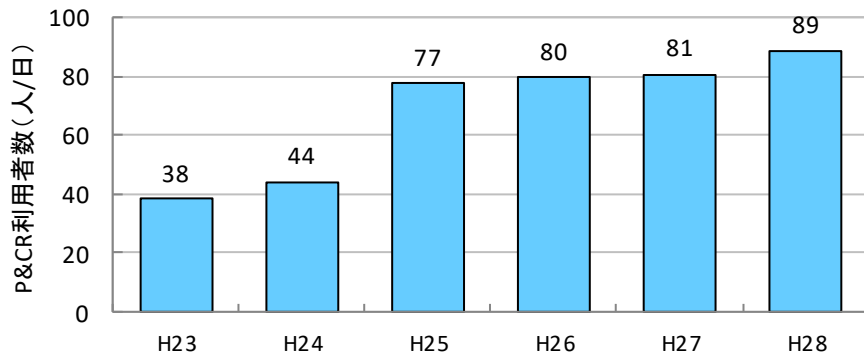


図 4.18 レンタサイクル貸出数

4.3.3 施策 3：駐車場利用の平準化

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度	
概要	分かりやすい駐車 場案内の整備	・円滑な駐車場利用を促進させるために、駐車場案内システムを整備するとともに、駐車場への案内・誘導を充実します。
	JR 奈良駅周辺駐車 場の利用促進	・JR 奈良駅周辺駐車場の料金見直しなどにより、奈良中心市街地における駐車場利用の平準化を促進し、渋滞の緩和を図ります。
モニタリング 指標	指標：JR 奈良駅市営駐車場の利用台数	383 台/日（平成 28 年）

(2) 施策の実施状況

1) 分かりやすい駐車場案内の整備（駐車場案内システムの整備）

従来の駐車場案内システムは、駐車場案内情報が細かく煩雑で直感的に認知できないことから、空き駐車場の明確化を図るとともに、駐車場までのルートについて交通処理上有効なルートへの案内をシンプルで分かりやすく改良しました。

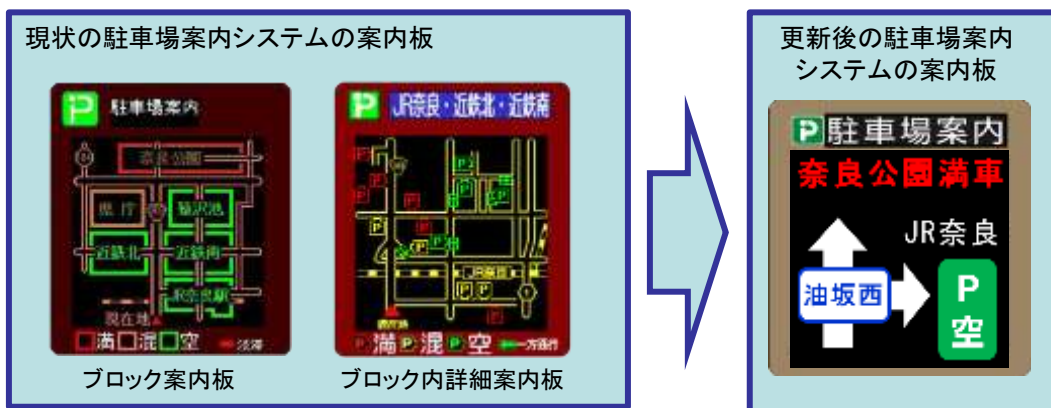


図 4.19 駐車場案内システム整備イメージ

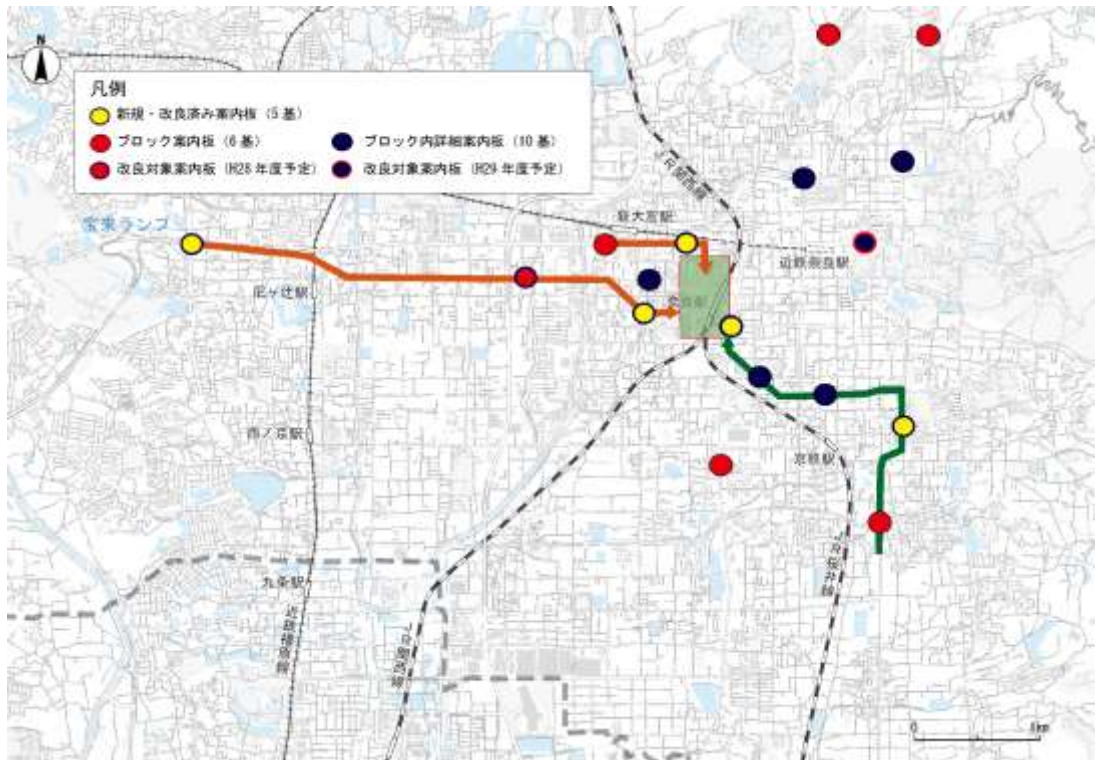


図 4.20 駐車場案内システム整備位置図

2) JR 奈良駅周辺駐車場の利用促進（駐車場利用の平準化）

平成 27 年度より、春期・秋期の観光ピーク期に、登大路（北）駐車場等の在庫待ち車両による周辺道路の渋滞解消と、JR 奈良駅周辺駐車場の利用促進を目的とした車両誘導を実施しています。また、車両誘導実施時には、JR 奈良駅周辺駐車場までの自動車でのアクセス方法と、周辺観光情報を記載した駐車場マップを配布し、駐車場利用の平準化を促進しています。



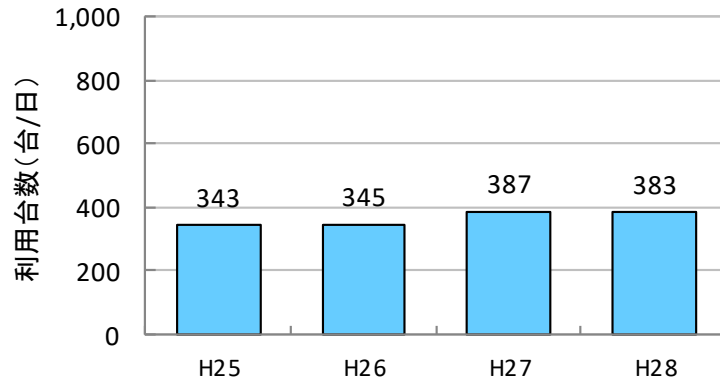
図 4.21 駐駐車場マップ



図 4.22 駐車場誘導看板

(3) モニタリング指標の状況

JR奈良駅駐車場利用台数は、平成27年に対し、ほぼ横ばいです。



※各年の数値は秋期（正倉院展期間の土日祝）

図 4.23 JR奈良駅市営駐車場の利用台数

4.3.4 施策4：観光バスの需要調整

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成29年度～平成31年度	
概要	・観光ピーク期に観光バスが来訪する時間帯を分散し、駐車場への入庫待ちによる渋滞を解消するため、ウェブ上での予約を基本とする観光バス駐車場予約システムを継続的に実施します。	
モニタリング指標	指標：予約台数・予約率	145台/日・66%（平成27年）

(2) 施策の実施状況

観光ピーク期間に観光バスが来訪する時間帯を分散し、駐車場への入庫待ちによる渋滞を解消するため、平成23年9月から大仏前駐車場に予約システムを導入し、平成28年度も継続して実施しています。



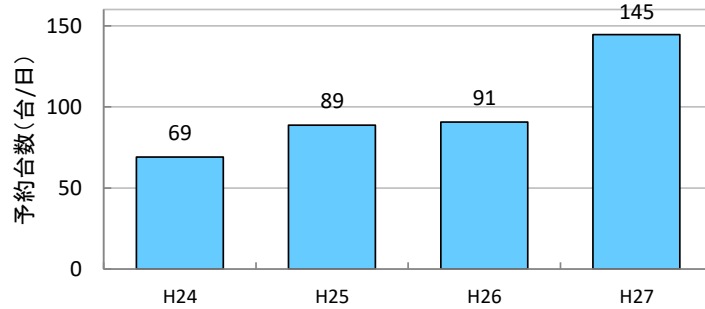
図 4.24 団体バスの駐車待ち状況



図 4.25 観光バス予約システムの画面

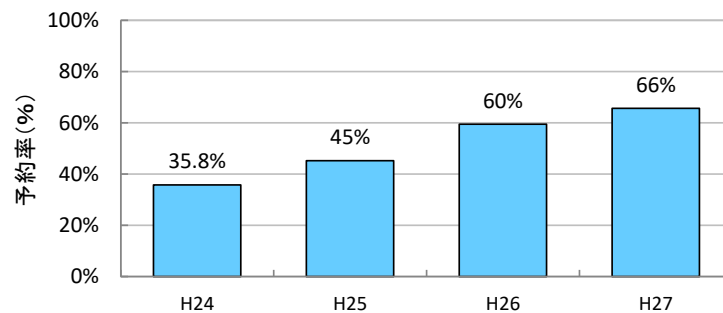
(3) モニタリング指標の状況

大仏前駐車場における観光バスの予約台数及び予約率は増加傾向にあり、平成 27 年では日平均予約台数が 145 台/日、予約率が 66%と、利用者に対する周知が浸透しつつあります。



※大仏前駐車場の駐車場予約台数の日平均値

図 4.26 予約台数



※大仏前駐車場の予約台数の全駐車台数に対する割合

図 4.27 予約率

4.3.5 施策 5：鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度	
概要	情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上	・鉄道駅からバスへの快適でかつ円滑な乗り継ぎが可能となるように、鉄道駅にてバス停の位置やバスルートなどの運行情報に関する案内を行います。
	木簡型一日乗車券の企画・販売	・奈良中心市街地内における公共交通による周遊観光を促進するために、継続的に木簡型一日乗車券を製作・販売します。
モニタリング指標	指標：木簡型一日乗車券の販売枚数	20,834 枚（平成 28 年秋期）

(2) 施策の実施状況

1) 情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上

ぐるっとバスのバス停標柱にバス停周辺案内マップを掲載しています。また、近鉄奈良駅ではぐるっとバスの乗場案内を実施しています。



バス停周辺案内マップ



図 4.28 ぐるっとバスバス停標柱

図 4.29 近鉄奈良駅でのぐるっとバス乗場案内

鉄道駅等に設置したデジタルサイネージにおいて、時刻表や路線バスルートのご案内、奈良公園周辺や県内の観光施設などの情報発信を実施しています。



図 4.30 デジタルサイネージ

2) 近鉄奈良駅ぐるっとバスの奈良公園ルートへのバス停移設

利便性を向上させることを目的として、奈良公園への歩行者動線を踏まえ、行基広場から視認できる近鉄奈良駅1番出入口付近に平成28年6月11日(土)から移設しました。



図 4.31 ぐるっとバスのバス停移設情報



図 4.32 移設後のバス停

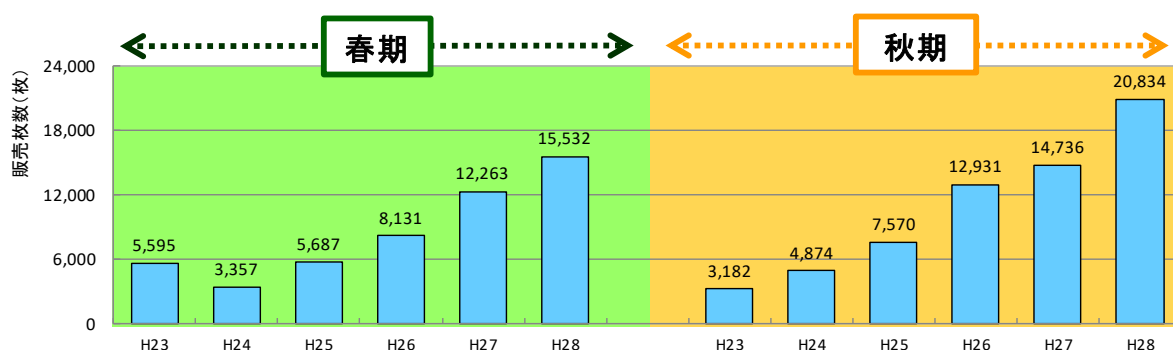
3) 木筒型一日乗車券の企画・販売

公共交通による周遊観光促進を目的として、継続的に木筒型一日乗車券を製作・販売しています。

[詳細は 2.3.2 参照]

(3) モニタリング指標の状況

木簡型一日乗車券の販売枚数は、平成 28 年秋期の木簡型一日乗車券は完売し、販売枚数も増加しており、公共交通での周遊観光の促進や乗り継ぎ利用の促進に寄与していると想定できます。



※各年度の数値は、木簡型一日乗車券販売期間内の大人（木簡と紙式）と小児の販売枚数の合計値

図 4.33 木簡型一日乗車券の販売枚数

4.3.6 施策 6：ターミナルの検討

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度	
概要	(仮称) 登大路バスターミナルの整備	・奈良公園への来訪公共交通手段と公園内を走行するぐるっとバスとの交通結節機能を向上させるために、乗り継ぎ利便性向上に向けたターミナルの整備を行います。
	大宮通り新ホテル・交流拠点の整備	・県営プール跡地等に、コンベンション施設、屋外多目的広場、飲食・物販施設、駐車場及びバスターミナルからなる交流拠点施設の整備を進めます。 ・駐車場及びバスターミナルは、P&R による奈良観光の交通拠点として、また空港リムジンバス、長距離バス及び市内周遊バス（ぐるっとバス）の乗換拠点として活用することを想定しています。
モニタリング指標	—	

(2) 施策の実施状況

1) (仮称) 登大路バスターミナルの整備

平成 23 年に登大路（南）駐車場の利用を廃止し、交通渋滞の緩和や公園の魅力向上等を目的として平成 30 年度の完成を目処に、(仮称) 登大路バスターミナルを整備中です。平成 28 年 9 月より造成工事に着手し、平成 29 年 4 月より、建築工事に着手予定です。

[詳細は 2.3.4 参照]

2) 大宮通り新ホテル・交流拠点の整備

県営プール跡地等において、国際ブランドホテルの誘致、NHK奈良放送会館の移転と併せ、平成32年春の開業を目指して、コンベンション施設、屋外多目的広場、飲食・物販施設、駐車場及びバスターミナルからなる交流拠点施設の整備を進めています。

駐車場及びバスターミナルは、パーク&バスライドによる奈良観光の交通拠点としての活用を想定しており、一般乗用車400台を収容する有料駐車場、バスバス2台分とバスプール3台分を備えるバスターミナルを整備する予定です。

バスターミナルは、空港リムジンバス、長距離バス及び市内周遊バス（ぐるっとバス）の乗換拠点として、安心・清潔で観光情報発信拠点ともなる乗降・待合空間とすることを想定しています。



図 4.34 大宮通り新ホテル・交流拠点の事業者提案パース（イメージ）

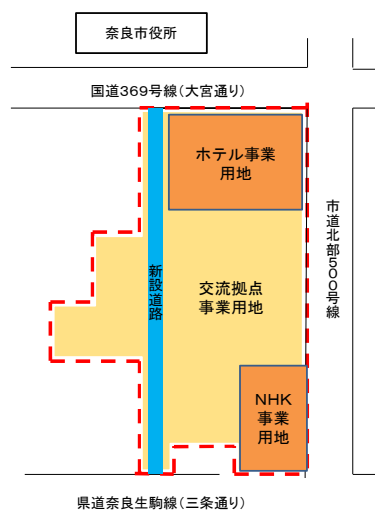


図 4.35 拠点事業内施設配置図



図 4.36 コンベンション施設概観イメージ



図 4.37 屋外多目的広場活用イメージ

4.3.7 施策7：観光拠点間の移動環境の充実

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成29年度～平成31年度	
概要	・奈良公園や平城宮跡、ならまちなどの観光地、鉄道駅などを結ぶ周遊バス（ぐるっとバスなど）について、運行形態などを見直しながら、継続的に運行します。	
モニタリング指標	指標：ぐるっとバス利用者数	3,273人/日（平成28年秋季）

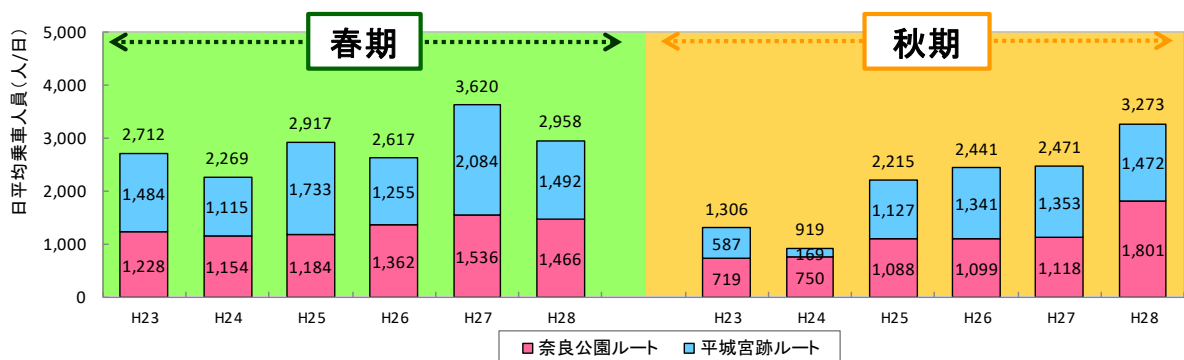
(2) 施策の実施状況

鉄道駅から奈良公園や平城宮跡などの観光施設を結ぶぐるっとバスを運行しています。

[詳細は 2.3.3 参照]

(3) モニタリング指標の状況

平成28年のぐるっとバスの平均利用者数は秋季が平成23～27年に比べ増加しています。



※上記の利用者数は、春期は天平祭、秋期は正倉院展の開催期間を対象に集計（1日あたりの平均利用者）

※平成25年度、平成26年度はならまちルートの利用者数を含む

図 4.38 ぐるっとバス利用者数の推移

4.3.8 施策8：ならまち界隈の動線確保

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成29年度～平成31年度	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ならまちエリアでは周遊型の観光客が多く、エリア内の広範囲に観光拠点が点在することから観光客のマイカー等による来訪が想定されます。このようなマイカーでの来訪者の集中による周辺道路の渋滞を避けるため、ならまち南エリアに公共交通機関での来訪を基本としたエントランスとなる拠点施設を整備することにより、観光客の動線を北と南の2方面に複線化します。 ・従来からの北方面の近鉄奈良駅からの動線に、南方面のJR京終駅から誘導する案内板を整備し、新たな動線を加えることにより、ならまちへの来訪を車に頼らずに鉄道や路線バスなどの公共交通機関の利用でできるようにします。 	
モニタリング指標	指標①：奈良町南観光案内所入館者数	3,075人/月（平成27年） *平成27年11月19日よりオープン
	指標②：JR京終駅乗降者数	1,404人（平成27年）

(2) 施策の実施状況

ならまちエリアの周遊観光促進を目的として、奈良町南観光案内所の整備や、JR京終駅を中心に案内板の整備を進めています。

[詳細は 2.3.5 参照]

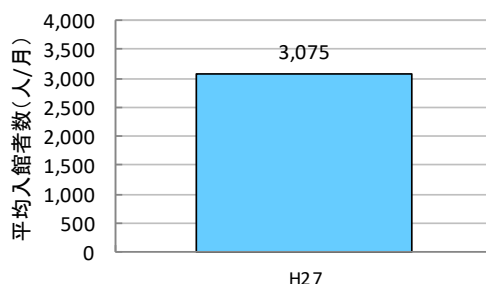


図 4.39 ならまち界隈で目指す観光客の周遊動線

(3) モニタリング指標の状況

① 奈良町南観光案内所入館者数

平成 27 年の奈良町南観光案内所入館者数は、月約 3 千人です。



※ 平成 27 年度は 11 月 19 日以降の数値

図 4.40 奈良町南観光案内所入館者数

② JR 京終駅乗降者数

JR 京終駅乗降者数は、平成 22 年以降増加傾向にあります。

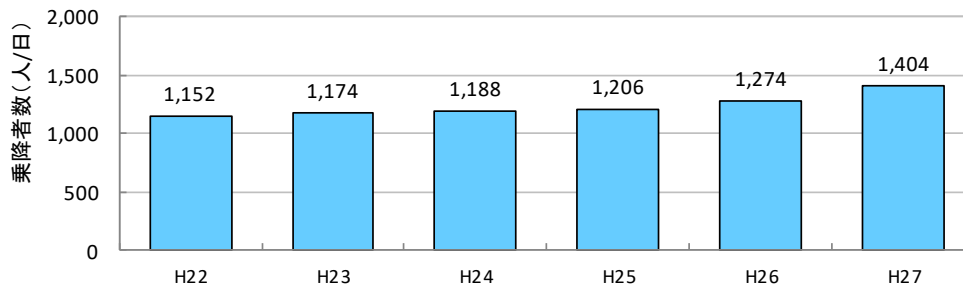


図 4.41 JR 京終駅乗降者数

4.3.9 施策 9：モビリティ・マネジメントの実施

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情の把握と「エコ通勤」の啓発のためにアンケートを実施します。 ・ 事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシを配布し、通勤における公共交通への意識転換を図ります。 	
モニタリング指標	指標①：マイカー通勤抑制措置の取組割合	49% (平成 28 年)
	指標②：公共交通通勤への呼びかけ割合	31% (平成 28 年)
	指標③：交通マネジメントの実施割合	17% (平成 28 年)

(2) 施策の実施状況

平成29年1月より毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情把握と「エコ通勤」の啓発のためのアンケートを実施しています。

(3) モニタリング指標の状況

① マイカー通勤抑制措置の取組割合

奈良市内の事業所における、マイカー通勤抑制措置の取組割合は、49%です。

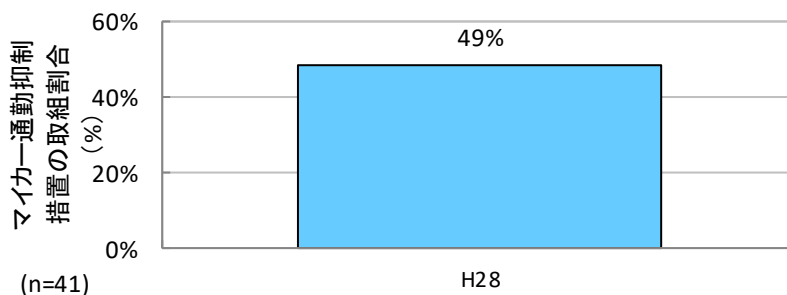


図 4.42 ① マイカー通勤抑制措置の取組割合

② 公共交通通勤への呼びかけ割合

奈良市内の事業所における、公共交通を利用した通勤への呼びかけ割合は、31%です。

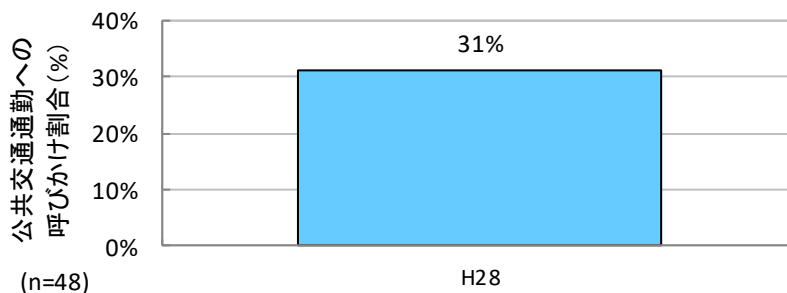


図 4.43 公共交通通勤への呼びかけ割合

③ 交通マネジメントの実施割合

奈良市内の事業所における、事業所と行政との職域連携による交通マネジメントの実施割合は、17%です。

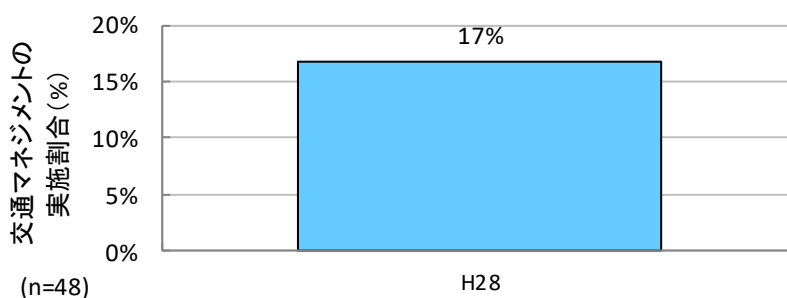


図 4.44 交通マネジメントの実施割合

5. 推進体制

5.1 推進体系

本計画を確実に推進し、実現していくためには、住民や観光客、交通事業者、行政などの関係主体が自らの役割を認識し、分担・協力しながら事業を推進いくことが重要です。

各関係主体は、奈良中心市街地の交通状況および課題、基本理念・目標を相互に理解・共有し、緊密な連携を図りながらより快適な観光および日常生活の実現に向けて、公共交通で快適に移動できる地域の創出を進めていくこととします。

表 5.1 関係主体の役割

主体	役割
住民など	無駄な自動車利用を減らして公共交通機関を積極的に利用する役割を担う。啓発活動などを通して、通勤、通学、私用などの全ての移動において、公共交通機関を使う意識を醸成する。
観光客	広報などを確認して公共交通機関を利用する役割を担う。やむを得ず自動車で来訪する観光客は、P&R を積極的に利用する役割を担う。
交通事業者	企画切符などのサービスや広報活動をさらに充実させ、行政との連携を図りつつ公共交通利用促進を図る役割を担う。また、交通モード間での連絡強化を図り、利便性の高い公共交通を構築する。
行政	市・県・国が協働し、円滑な事業実施に努めるとともに、公共交通利用促進に関して、交通事業者を支援する役割を担う。

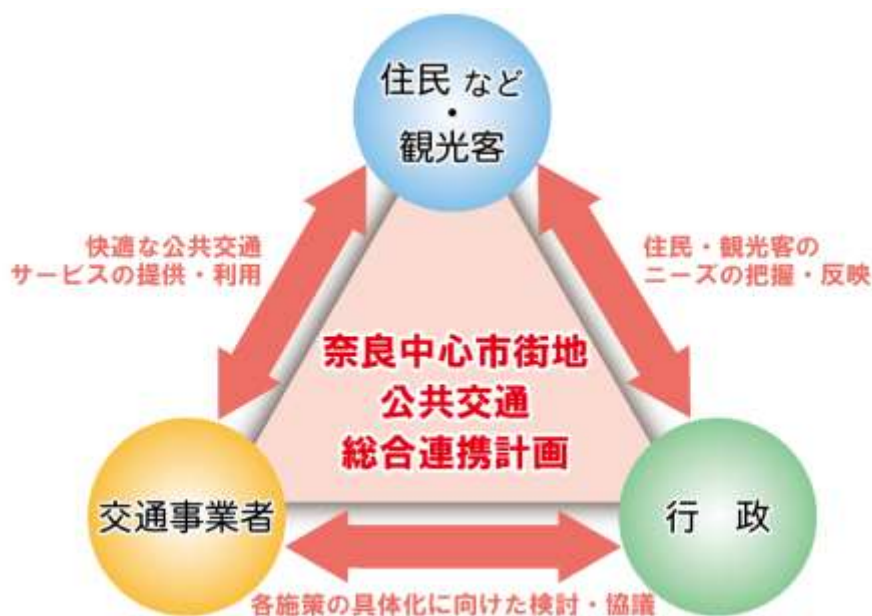


図 5.1 事業の推進体系

5.2 事業推進に係る目標達成状況および施策効果検証の実施

奈良中心市街地における公共交通を取巻く環境（利用状況、交通事業者の状況、行政の財政状況、社会状況など）は、時間の経過とともに今後も変化することが予想されるため、本計画で定める事業内容においても、その変化に適切に対応すべく、定期的な見直しを行うことによって、持続可能な公共交通の確立を図ることが重要です。

そこで、本計画では、PDCAサイクルによって、「計画の策定(Plan)、事業実施(Do)、評価(Check)、柔軟な見直し(Action)」についてマネジメントを行い、効率的かつ効果的な事業の実施へとスパイラルアップを図ります。今後も定期的に協議会を開催し、PDCAサイクルに従って各モニタリング指標に基づいた評価を行いながら、改善を図りつつ、各事業を推進していきます。



図 5.2 PDCA サイクルによるスパイラルアップのイメージ

【参考資料】検討の経緯

平成25年3月の前回計画の策定後、「奈良中心市街地公共交通活性化協議会」において、施策の実施状況や目標値の達成状況について報告し、PDCAにより継続的に施策展開を実施しました。

表 検討の経緯

年月日	委員会名	概要
平成25年3月		奈良中心市街地公共交通総合連携計画(前回計画)の策定
平成25年7月5日	第11回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成25年度夏以降のぐるっとバス運行について
平成25年9月2日	第12回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成24年度決算と監査報告について ・春の取組結果についてと、秋以降の取組内容(案)について ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画について
平成25年12月24日	第13回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成25年度秋の取組結果(速報)及び、なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行について ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画次期計画(案)について
平成26年2月26日	第14回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・観光交通対策について 平成25年度の取組結果及び、平成26年度の取組予定(案) ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画 平成26年度からの計画(案)
平成26年3月26日	第15回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成26年度予算(案)について ・規約の変更(案)について
平成26年8月20日	第16回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成26年度秋以降の取組内容について
平成26年12月22日	第17回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・連携計画の目標達成状況について ・平成26年度春季・秋季の取組結果 ・なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行(案) ・平成27年度の実施内容(案)(ぐるっとバス、奈良観光周遊バス、木筒型一日乗車券)
平成27年2月16日	第18回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成27年度の取組内容について
平成27年3月19日	第19回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成27年度予算(案)について
平成27年9月1日	第20回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成27年秋期の取組内容について
平成28年1月8日	第21回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成26年度決算と監査報告 ・連携計画の目標達成状況(速報) ・平成27年度春季・秋期の取組内容と結果(速報) ・平成28年度の取組内容(案)
平成28年3月25日	第22回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成28年度予算(案)について
平成28年4月20日	第23回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成28年度の取組内容について
平成28年8月19日	第24回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成27年度決算と監査報告 ・連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) ・平成28年春期の取組内容と結果(速報) ・平成28年秋期の取組内容(案) ・連携計画の見直し方針 ・設置規約等の改正
平成28年12月19日	第25回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) ・平成28年秋期の取組内容と結果(速報) ・平成29年度の取組内容(案) ・次期連携計画(案)
平成29年2月13日	第26回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成29年度春以降のぐるっとバス運行について